

# 柏市健康増進計画

## 令和元年度 進捗状況報告書

令和2年6月

# 目次

1	栄養・食生活	1
2	身体活動・運動	9
3	休養・こころの健康	17
4	喫煙	23
5	飲酒	29
6	歯・口腔の健康	32
7	糖尿病	40
8	循環器疾患	45
9	がん	50

表の見方	【事業名】	* : 事業名, 事業概要, 指標が全て再掲であるもの
		※ : 事業名は再掲だが, 事業概要または指標が異なっているもの
	【ライフステージ】	○ : 該当
		△ : 一部該当

# 1. 栄養・食生活

(1)適正体重を維持するための知識の普及																							
①成人女性のやせ(20歳代)[BMI 18.5未満]及び成人男性の肥満[BMI 25.0以上]の減少																							
②児童・生徒の肥満[標準体重の+20%以上]の減少																							
③体重の変化を気にしている人(成人)の割合の増加																							
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性									
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期												
保健所 健康増 進課	給食施設指 導事業	①個別指導(各施設を個 別に巡回し、現地指導を 実施。電話、来所による 相談 ②集団指導(テーマに応 じ職種別、施設種類別に 研修会を開催) ③調査報告(各給食施設 の運営・栄養管理状況を 把握するため年2回調査 実施)	他課 (学校保健課・ 保育運営課)  柏市保健所管 内集団給食研 究会	①なし ②なし	・肥満及びやせ の割合の減少  ・啓発媒体活用 増加	△	△	△	○	○	△	給食施設指導件数	令和元年度は災害対策等の指摘の 基準を変更したため、指導件数が 増加した。 肥満及びやせの割合の増加がある 施設(前年度比が増加している施 設)や、該当者が多い施設に対し、 個別巡回時に改善に向けた指導を 行う。 喫食者への直接的な指導が難しい 施設向けに、啓発媒体を作成した。 効果的な周知・配布をし、個々に働 きかけられるよう支援を引き続き 行っていく。 令和2年度は、日本人の食事摂取 基準の改定に伴い、給与栄養目標 量の設定について助言していく。	・各施設の割合変動 を確認し、増加傾向 にある施設や、該当 割合が多い施設にお ける改善対策の指 導・助言を継続して行 う。 ・新たな改善案を検 討し、積極的に取り組 んでいく。 ・日本人の食事摂取 基準改定に伴い、基 準に沿った栄養管理 が行われているか指 導・助言を行う。									
												H27			H28	H29	H30	R元					
																29件	33件	33件	39件	47件			
																「肥満に該当する者の割合」の増加施設割合 (国基準:、H26年度比+5%以上)							
																1.0%	1.0%	2.8%	5.6%				
																「やせに該当する者の割合」の増加施設割合 (国基準:、H26年度比+5%以上)							
																1.0%	1.0%	0.9%	0.0%				
																※平成30年度からは厚労省より指導方針が示されなかった ため、H26との比較は行わず前年度との比較で指導・助言を 行っている。							
																「肥満に該当する者の割合」の増加施設割合 (各施設における前年度比増)							
																47.0%	41.0%	48.1%	57.8%	55.4%			
								「やせに該当する者の割合」の増加施設割合 (各施設における前年度比増)															
								39.0%	37.0%	39.8%	48.6%	35.7%											
学校教 育部 学校保 健課	学校給食提 供事業 (小学校)	給食を生きた教材とし て、児童を対象に適切な 摂取量や、成長に必要な 栄養分を習得する。  また、養護教諭と連携 し、咀嚼の重要性や栄養 バランスの取れた食事、 栄養と運動の両面を意 識することで、健康な生 活習慣を習得するため の食育事業を行う。	学校歯科医	①なし ②なし	定期健康診断 における肥満 【標準体重の+ 20%以上】の人 数の減少							給食実施回数(平均)	定期健康診断において、肥満度2 0%以上の児童の割合が増加した。 学校栄養職員・栄養教諭と養護教 諭が連携し、健康な生活習慣を習 得するための食育を行う。新型コロ ナウイルス感染症対策を鑑み、授業 だけではなく、資料の提供や短時間 で栄養指導など、指導方法につい ての工夫が必要である。 令和2年度においては、可能な限 り、生きた教材としての給食実施を 検討し、児童を対象に適切な摂取量 や、成長に必要な栄養量について 指導していく。また、家庭においても 望ましい食事摂取の仕方について 資料の提供や指導方法についての 工夫をしていく。	「よく噛んで食べるこ と」が望ましい食生活 や体重管理につな がることを意識させるた め、学校歯科医から 専門的な知識を教授 してもらう機会を得る ようにする。特に、今 までの指導案等の公 開をし、多くの学校で 積極的に働きかけが 出来るようにする。									
																		H27	H28	H29	H30	R元	
																			185回	185回	185回	185回	181回
																			対象者数				
																			21,525人	21,690人	21,917人	21,961人	22,063人
																			肥満【標準体重の+20%以上】の人数				
																			1,396人	1,506人	1,515人	1,606人	1,696人
																			肥満【標準体重の+20%以上】の割合				
																			6.5%	6.9%	6.9%	7.3%	7.6%
																			やせ【標準体重の-20%以上】の人数				
											262人	284人	304人	286人	268人								
											やせ【標準体重の-20%以上】の割合												
											1.2%	1.3%	1.4%	1.3%	1.2%								

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性							
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期										
学校教育 部 学校保 健課	学校給食提 供事業 (中学校)	給食を生きた教材とし て、生徒を対象に適切な 摂取量の体得、成長に 必要な栄養分を習得す る。 また、養護教諭と連携 し、咀嚼の重要性や栄養 バランスの取れた食事、 栄養と運動の両面を意 識することで、健康な生 活習慣を習得するため の食育事業を行う。	学校歯科医	①なし ②なし	定期健康診断 における肥満 【標準体重の+ 20%以上】の人 数の減少							給食実施回数(平均) H27 H28 H29 H30 R元 180回 180回 180回 180回 177回 対象者数 9,936人 9,939人 9,852人 9,754人 9,735人 肥満【標準体重の+20%以上】の人数 704人 719人 714人 728人 846人 肥満【標準体重の+20%以上】の割合 7.1% 7.2% 7.2% 7.5% 8.7% やせ【標準体重の-20%以上】の人数 247人 231人 251人 287人 264人 やせ【標準体重の-20%以上】の割合 2.5% 2.3% 2.5% 2.9% 2.7%	令和元年度健康診断において、肥満度20%以上の生徒の割合が増加した。特に、中学生男子の軽度肥満(肥満度20~30%)の増加が見られ、食生活だけでなく運動量も含めた生活様式についての多様化が考えられるため、生活全般へのアプローチが必要となる。学校栄養職員・栄養教諭と養護教諭が連携し、健康な生活習慣を習得するための食育を行う。新型コロナウイルス感染症対策を鑑み、授業だけではなく、資料の提供や短時間で栄養指導など、指導方法についての工夫が必要である。令和2年度においては、可能な限り、生きた教材としての給食実施を検討し、生徒を対象に適切な摂取量や、成長に必要な栄養量について指導していく。また、家庭においても望ましい食事摂取の仕方について資料の提供や指導方法についての工夫をしていく。	「よく噛んで食べるこ と」が望ましい食生活 や体重管理につな がることを意識させる ため、学校歯科医から 専門的な知識を教授 してもらう機会を得 るようになる。特に、 今までの指導案等の公 開をし、多くの学校で 積極的に働きかけが 出来るようにする。							
保健福 祉部 福祉政 策課 地域包 括支援 課	柏フレイル予 防プロジェク ト2025	「フレイル(虚弱)」とい う概念を新たに取り入れ 、市民、関係団体、学識 経験者、市による「推 進委員会」を設置・運 営しながら、健康づく り事業の効果的な運動 と地域を基盤とした市 民主体の活動を推進	医師会、歯科医師会、 薬剤師会、東京大学、 ふるさと協議会、社会 福祉協議会、民生委員 児童委員、柏市健康 づくり推進員、スポーツ 推進委員、東葛北部 栄養士会、リハビリテ ーション連絡会、地域 包括支援センターなど	①第一生命、介護事 業者、イオン、JR東日 本、日立、フィットネ ス振興会 ②日立、フィットネ ス振興会	市民の意識・行動変 容(栄養、身体活動、 社会参加の促進)							推進委員会実施回数 H27 H28 H29 H30 R元 1回 3回 3回 2回 1回	令和元年度は、市内全 域でのフレイルチェッ クの展開とともに、フ レイル予防啓発チラシ の小中学校配布、車 両貼付マグネットシ ートを介護事業者車 両、ゴミ収集車等に 貼付、啓発動画の作 成など、新規施策も 含めて幅広く普及啓 発活動を実施した。 今後は、令和2年4月 からスタートした柏 市フレイル予防ポイン ト制度について、ス ポーツジムなど民間 事業者を広く巻き込 んだ事業拡大や、東 大、日立と連携した AIを使ったフレイル 予防の可能性検証な ど、柏フレイル予防 プロジェクトのより 幅広い展開に取り組 む。	フレイル予防の普及・ 啓発と効果的な促 進、地域における市 民主体の活動の促 進、フレイル予防に 係る関係機関の連 携・運動を推進し 、フレイル予防によ るまちづくりの実 現を目指していく。							

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性									
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期												
保健福祉部 地域包括支援課	フレイル予防事業	主に高齢者に対するフレイル(介護予防)事業のうち、栄養をテーマとしたプログラムについて、管理栄養士等が講座を行う。	東葛北部在宅栄養士会、地域包括支援センターなど	①なし ②なし	市民の意識・行動変容(栄養の改善)							フレイル予防講座(栄養)の参加者数	令和元年度は、介護予防センターと地域包括支援センターの共催によるフレイル予防講座を2地域で実施。共催とすることで、フレイルリスクの高い方の参加につながり、より具体的な地域の情報提供なども行うことができた。令和2年度も共催の講座を3地域で実施予定。各地域でフレイルチェックを実施し、フレイル予防講座の受講により、市民がフレイル予防を日常生活の中で具体的に実践できることを目指していく。	フレイルチェックを受けた方がフレイル予防講座につながるような、効果的に運動できる体制整備を図っていく。									
												H27			H28	H29	H30	R元					
																			介護予防センター主催の教室				
																			—	133人	74人	44人	27人
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険 特定保健指導	特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6か月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。	・柏市医師会 ・JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ) ・千葉県厚生農業共同組合連合会 ・千葉県民保健予防財団 ・千葉県国保連合会	①なし ②なし	生活習慣病の発症及び重症化の予防								特定保健指導実施率	平成30年度の保健指導実施率が向上した要因の一つとして、国が示す「第3期特定健診・特定保健指導」に基づく、特定保健指導の支援期間の見直し(6か月から3か月)により、初回面接の分割実施が可能となったことから、集団健診において導入したことによるものと推察される。令和2年度以降も指導率向上に向けた取組を継続していく。  新型コロナウイルス感染拡大予防対策について 国の方針を踏まえつつ感染拡大防止に配慮した特定保健指導を実施する。	「柏市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)」、「柏市国民健康保険第3期特定健診等実施計画」の計画期間の中間評価を踏まえた取組を実施する。								
																			H27	H28	H29	H30	R元

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性															
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																		
市民生活部 保険年金課	健康づくり相談	健康診査の結果により、生活習慣改善の必要なかたに、保健師・管理栄養士が個別相談を行い、個人の生活に即した具体的なアドバイスを行う。	—	①なし ②なし	健康診査の結果により、生活習慣改善の必要なかたに、保健師・管理栄養士が個別相談を行い、個人の生活に即した具体的なアドバイスを行う							<table border="1"> <tr><th colspan="5">相談者数</th></tr> <tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R元</th></tr> <tr><td>115人</td><td>98人</td><td>35人</td><td>42人</td><td>40人</td></tr> </table>	相談者数					H27	H28	H29	H30	R元	115人	98人	35人	42人	40人	<p>特定健診の結果、特定保健指導に該当しない方や、「75歳以上の健康診査」や「18歳から39歳までの健康診査」の受診後の事後フォローとして実施している。</p> <p>令和2年度も引き続き、健診結果等を元に、対象者のニーズに応じた相談支援を実施し、生活習慣の改善に向けた支援をすることで、生活習慣病の予防及び重症化予防の取組を推進していく。</p>	「柏市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)」、「柏市国民健康保険第3期特定健診等実施計画」の計画期間の中間評価を踏まえた取組を実施する。
						相談者数																							
H27	H28	H29	H30	R元																									
115人	98人	35人	42人	40人																									
保健所 健康増進課	へるすアップ相談	●平成29年度より実施骨粗しょう症検査、柏市健康診査の結果、生活習慣改善の必要なかたに、保健師・管理栄養士が個別相談を行い、個人の生活に即した具体的なアドバイスを行う。	柏市医師会	①なし ②なし	健診等結果を踏まえて自らの生活習慣を振り返り、主体的に健康づくりに取り組むことができる							<table border="1"> <tr><th colspan="5">相談利用率(骨粗しょう症検査受診者)</th></tr> <tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R元</th></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>10.7%</td><td>7.0%</td><td>8.3%</td></tr> </table>	相談利用率(骨粗しょう症検査受診者)					H27	H28	H29	H30	R元	—	—	10.7%	7.0%	8.3%	<p>相談利用率向上のため、骨粗しょう症検査・柏市健診受診1～2か月後に、対象者にへるすアップ相談参加勧奨通知を送付。</p> <p>令和元年度は、初回相談2～3か月後に電話フォローを実施。初回相談で対象者が立案した食事・運動計画をもとに、実施状況の聞き取りを行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初回相談利用率向上のため、参加勧奨通知の送付を継続する。</li> <li>電話フォローの継続。立案計画に対する、目標達成状況を分析し、初回相談対応に反映させる。</li> <li>会場別相談利用率から、次年度の実施会場や実施回数を検討する。</li> </ul>
						相談利用率(骨粗しょう症検査受診者)																							
H27	H28	H29	H30	R元																									
—	—	10.7%	7.0%	8.3%																									



(2)野菜の摂取量の増加																								
④野菜摂取量の増加の割合(成人)																								
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性										
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期													
保健所 健康増 進課	給食施設指 導事業 (※)	①個別指導(各施設を個 別に巡回し、現地指導を 実施。電話、来所による 相談 ②集団指導(テーマに応 じ職種別、施設種類別に 研修会を開催) ③調査報告(各給食施設 の運営・栄養管理状況を 把握するため年2回の調 査を実施)	他課 (学校保健課・ 保育運営課)  柏市保健所管 内集団給食研 究会	①なし ②なし	・給食施設の食 品構成における 野菜摂取量の 増加 ・野菜料理の残 渣量の減少 ・ヘルシーメ ニューの提供増 加 ・啓発媒体活用 の増加	△	△	△	○	○	△	給食施設指導件数	・令和元年度は災害対策等の指摘 の基準を変更したため、指導件数が 増加した。 ・個別巡回において、食品構成や野 菜摂取量についての聞き取りに力を 入れ、必要に応じて助言していく。 ・喫食者への直接的な指導が難しい 施設向けに、啓発媒体を作成した。 効果的な周知・配付をし、個々に働 きかけられるよう支援を引き続き 行っていく。	・個別巡回で聞き取り をした野菜摂取量に ついて考察し、新たな 改善案や啓発案を検 討する。										
												H27			H28	H29	H30	R元						
												35件			29件	33件	39件	47件						
保健所 地域保 健課	啓発事業	イベント等の中で運動、 食、タバコ等健康に関 する啓発を実施。一般市 民を対象とし、幅広いテ マについての啓発を行 う。	庁内関係各課  柏市民健康づく り推進員  各種団体及び 企業関係	①なし ②なし	幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に関 する気づきの場 を作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)	柏市の各地域における推進員の協 力を得ることにより、一定の周知・啓 発活動を展開することができた。 令和2年度も、健康教育や啓発等 を実施し、地域における健康づくり を推進する。	引き続き、健康教育 や啓発等を実施し、 地域における健康づ くりを推進する。										
												H27			H28	H29	H30	R元						
												5,235人			4,869人	3,979人	3,705人	3,014人						
												啓発実施者数(栄養・食生活)												
												365人	1,076人	290人	1,375人	1,478人								
保健所 健康増 進課	健康づくり普 及啓発事業	イベント、健康教育の中で 運動、食、タバコ等健康に 関する啓発を実施。一般 市民を対象とし、幅広い テーマについての啓発を 行う。	・庁内関係各課 ・各種団体及び 企業関係	①モラージュ柏 第一生命保険 ②なし	幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に関 する気づきの場 を作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)	令和元年度は、各種イベントにて幅 広い内容の健康啓発を実施したた め、H27年に次いで多くの市民に健 康情報を発信することができた。栄 養に関しては、バランスの良い食生 活や食育レシピ、減塩に関するリー フレットを作成し、啓発を実施した。 また、「第一生命」との協定により、 第一生命の顧客へ毎月市で作成し た「かしわ健康メッセージ」を配付し たり、「モラージュ柏」で発行してい る「モラージュママ」を通じても健康情 報を定期的に発信することができ た。 令和2年度は、引き続き「第一生命」 および「モラージュ柏」と連携し、健 康情報を広く周知、啓発していく予 定。また、地域職域と連携し、一般 企業等への健康に関する啓発物品 (脂肪模型等)の貸し出しを開始す る。	健康増進計画の目標 値達成に近づける内 容の啓発を行ってい く。										
												H27			H28	H29	H30	R元						
												5,235人			4,869人	1,872人	2,657人	4,973人						
												※H29年度～ 柏市民健康づくり推進員活動については別掲												
												啓発実施者数(栄養・食生活)												
																				365人	1,076人	918人	663人	946人
												※H29年度～ 柏市民健康づくり推進員活動については別掲												
						依頼の健康教育参加者数(講師:栄養士)																		
												-	-	-	155人	19人								
						※H30年度～健康増進課として計上																		

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性									
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期												
保健所 健康増進課	栄養改善事業	「野菜を食べよう柏協力店」事業	柏市保健所管内調理師会 庁内関係各課	①柏市内飲食店 ②なし	野菜を食べることのできる食の環境整備とする。	△	△	△	○	△	△	登録店舗数					令和元年度は、市民への周知としてHPの更新、保健所だよりでの発信を行った。 令和2年度は、登録店舗数を増やすことで野菜を摂取しやすい環境整備を進めるとともに、媒体の作成や広報を活用し市民への周知をさらに強化して野菜の摂取量増加につなげたい。	県の「健康ちば協力店」事業の要領改正により、取り組み内容の共通項目が増えることが予想される。「健康ちば協力店」との連携を強化し、当事業の登録店舗数を増やす。					
												H27	H28	H29	H30	R元			—	—	8店舗	25店舗	30店舗
保健所 健康増進課	地域・職域連携推進事業	柏地域・職域連携推進協議会 事業所向けの健康情報等のメール配信 啓発リーフレットの配付 事業所向け講習会	柏労働基準監督署 柏労働基準協会 柏商工会議所 柏市沼南商工会 代表企業(2社) 東葛北部地域産業保健センター 全国健康保険協会千葉支部 柏市医師会 柏歯科医師会	①健康づくりに取り組む事業所(3社) ②なし	働く世代の生活習慣病予防とこころの健康づくりの推進  社員の健康づくりに積極的に取り組む事業所の増加							メール配信登録事業所数					元年度は年間11回のメール配信を行う中で、運動や運動関連イベントの情報を配信。健康づくりに取り組む事業所紹介は3社実施。引き続きメール配信の周知を行う。 食生活、運動、こころの健康、禁煙、歯・口腔の健康、健(検)診や各種相談窓口の情報をまとめたリーフレットを作成し、事業所等に配付。保健所だよりも活用した。 年2回の会議の中で、地域と職域の活動について確認・共有を実施した。 柏労働基準監督署と保健所の連名で「健康経営」をテーマにした講習会を実施。 今年度は、健康増進に関するリーフレットを作成し、配布する。	働く世代の健康づくり、職場での健康づくりの推進につながる配信内容、啓発方法の検討を実施					
												H27	H28	H29	H30	R元			13社	27社	36社	47社	60社
												講習会参加事業所数											
												8社	15社	29社	52社	43社							
経済産業部 農政課	食の安全・安心対策推進事業	市職員が農産物をサンプリングし、放射性物質検査を行う。また、検査結果についてホームページや広報などを通じて公表。	千葉県 一般財団法人 千葉県環境財団	①一般財団法人 千葉県環境財団	食の安全・安心を確保する。							検査品目数・検体数					消費者の不安を取り除き、安心して地元の農産物を購入できるよう継続的に検査を実施していく。また、検査の頻度等に関しては、放射性物質による影響範囲を見極めながら、費用と効果のバランスを配慮しながら実施していく。	検査や生産者への助言等を通じて、引き続き食の安全安心性を確保していく。また、適宜、情報を発信することで、風評被害の防止に取り組んでいく。					
																H27			H28	H29	H30	R元	52品目 239検体



(3)朝食を意識した、バランスのよい食生活の普及																								
⑤朝食の欠食率の減少																								
⑥食事のバランスのよい割合(成人)の増加																								
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性										
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期													
保健所 地域保 健課	母子保健食 育	<p>&lt;ママパパサロン・栄養&gt;妊婦とそのパートナーを対象に、講話やグループワークを通じた妊娠期の食生活支援を行う。</p> <p>&lt;離乳食教室、母と子のつどい、8か月児相談、2歳の歯☆ピカランド、幼児健康診査&gt;乳幼児期の保護者を対象に、講話や栄養相談を通じた食生活支援を行う。</p>	—	①なし ②なし	「バランスのとれた食事を規則正しくとる健康的な食習慣」を定着させるため、母子保健サービスを活用し、健康づくりの意識づけをする。	○						<p>3歳児健康診査における主食・主菜・副菜をそろえた朝食の割合</p> <table border="1"> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> </tr> <tr> <td>22.8%</td> <td>23.6%</td> <td>24.8%</td> <td>23.3%</td> <td>22.3%</td> </tr> </table>	H27	H28	H29	H30	R元	22.8%	23.6%	24.8%	23.3%	22.3%	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び令和2年度の取り組みについて	引き続き、各事業を通じて健康的な食習慣の啓発を推進する。
		H27	H28	H29	H30	R元																		
22.8%	23.6%	24.8%	23.3%	22.3%																				
保健所 健康増 進課	栄養改善事 業 (※)	<p>栄養士業務連絡会(栄養改善・健康増進等の支援の推進を検討)</p> <p>健康ちば協力店登録推進(健康づくりの取り組みを実施する飲食店の登録)</p> <p>栄養関係団体育成(栄養・健康づくりを担う関係団体の育成)</p> <p>講演会の企画(食育推進研修会、給食施設従事者研修会、千葉県調理師講習会講師)</p>	<p>柏市保健所管内調理師会</p> <p>柏市保健所管内集団給食研究会</p> <p>柏市医師会</p>	①なし ②なし	関係課、関係団体との連携により食事のバランスのよい割合が増加	△	△	△	△	△	△	<p>研修会実施回数</p> <table border="1"> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> </tr> <tr> <td>3回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> </tr> </table>	H27	H28	H29	H30	R元	3回	3回	3回	4回	4回	<p>柏市栄養士業務連絡会において、柏市全部署の栄養士を対象に、全体研修会を実施した。各部署の業務を理解することで、各ライフステージ毎の課題や取り組み内容を共有でき、課題解決に向けた共通認識を得ることができた。市全体の課題を事例として具体的な意見交換を行い、市民へ還元できる効果的な研修会を行うことができた。</p> <p>食事提供に係る施設を対象に、広い視野を持ったテーマで食育研修会を実施している。令和元年度は、脳科学からみる嗜好について学んだ。乳幼児から高齢者まで、成長や健康のための食事と嗜好を考慮した食事の間で、食支援に悩む声が多く聞かれる。脳のメカニズムを理解することで、更に喫食者に寄り添った支援を行う一助となった。</p>	自己研鑽を積むことで、市民への周知啓発内容を充実させていく。
H27	H28	H29	H30	R元																				
3回	3回	3回	4回	4回																				

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
こども部 保育運 営課	クッキング保 育	保育園の園児が、栽培 から収穫の過程を経験 することで、食物への関 心が高める。 園児が栽培した作物と同 じ野菜を利用して、5歳児 がクッキングを行い、食 べる。	各公立保育園 の保育士、調理 員と保育運営課 栄養士との連携	①なし ②なし	自分たちで育て たものを、友達 と一緒に調理 し、食べる喜び を味わうことで、 食に関心を持 つ。	○						クッキング保育実施園数					園児が自分たちで栽培収穫した野 菜と同じ種類の野菜を使用するこ とで、栽培から調理までを関連付 けて取り組むことができた。また、 苦手な野菜など、調理方法によっ て食べられることに気が付き、バ ランスのよい食生活に向けたきつ かけ作りができた。クッキング保 育の実施後は家庭でも料理をつ くるなど、食に関わる機会が増 えた。 令和元年度においては、6月と11 月の食育月間に、柏市立図書館 本館にて保育園給食ブースを設 け、保育園給食レシピの紹介、ク ッキング保育の様子を集約したパ ネルの展示、朝食をより簡単に 作る方法(リメイク料理)等の 紹介を行った。 今後は調理員と交流する機会を 設ける等、園児が日々の給食に おいてもより関心が持てるよう にしたり、家庭での会話や知識の 普及につながるような食育を進 めていく。 また、給食日より等レシピを 紹介し保護者へ情報発信をして いく。	園での食育を通し、 園児と保護者に情報 発信することで、バ ランスのよい食事を 意識し実践していく 手助けを行う。 体験活動を通じて食 への興味・関心が 深まるようクッキ ング保育を継続し ていく。
												H27	H28	H29	H30	R元		
生涯学 習部 中央公 民館	成人教育事 業 「食育講座」	食に関する課題を踏まえ、 講義や調理実習などをと おして、食に関する知識や 関心が高める。	—	①なし ②なし	豊かで健全な食 生活を実践でき る	○	○	○	○	○	○	講座実施状況					事業の見直しにより、「食育講座」 を「いきいき健康ライフ講座」 に一本化し、長寿社会の中でい きいきと過ごす手立てを学べる 講座とした。 発酵食品の身体への効能につ いて講話と実習を行った。 (発酵食品で健康ライフ) なお、応募対象地域を限定した ため、地域づくり事業として 実施した。	今後も「いきいき健康 ライフ」と統合し、 より幅を拡げた内容 で展開していく。
												H27	H28	H29	H30	R元		
学校教 育部 学校保 健課 こども部 保育運 営課 保健所 地域保 健課	子ども健康 プロジェクト	子ども健康プロジェクト の一環として、柏市の学 校給食のメニューを学校 給食クックパッドに掲載。 パソコンや携帯からも アクセスして、レシピを確 認することができ、パ リーションに富んだ給食 メニューを家庭で作るこ とができる。	学校保健課、保 育運営課、地域 保健課の栄養 士が連携し掲 載。	①なし ②なし	簡単でバリエー ションに富んだ 人気のある給食 メニューを周知 することで、調 理をする意欲を 高める。	○	○	○	○	○	○	年間レシピの閲覧数(年度)と月平均閲覧数					平成27年1月から毎月掲載。 平成29年度からは、保育園給 食及び離乳食を掲載し、より 若い世代が活用しやすい内 容として取り組む。 今までに掲載した献立をまと め、幅広い料理内容に取 り組んでいく。	継続し、関係各課連 携のもと、取り組ん でいく。
												H27	H28	H29	H30	R元		

2. 身体活動・運動

(1)運動習慣の定着																		
①運動習慣者の割合の増加																		
②20～59歳のほとんど運動していない人の割合の減少																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性					
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期				高齢期				
地域づくり推進部 スポーツ課	各種スポーツ教室の開催	<p>&lt;JR野球教室&gt; 市内中学校23校の中学2年生を対象に、JR東日本野球部の選手達をコーチに招き開催</p> <p>&lt;バスケットボール教室&gt; 市内ミニバスケットボールチームに所属している小学生を対象にJX-ENEOSサンフラワーズの選手をコーチに招き開催</p> <p>&lt;ティーボール教室&gt; 実施希望のあった市内小学校を対象にYBC柏の選手をコーチに招き開催</p> <p>&lt;ランニングクリニック&gt; 市内在住・在勤・在学の方を対象に積水化学女子陸上競技部の選手をコーチに招き開催</p>	YBC柏	<p>①JR東日本野球部 ①JX-ENEOSサンフラワーズ ①積水化学女子陸上競技部 ①千葉ロッテマリーンズ ②なし</p>	市のスポーツを活かしたまちづくりの推進	参加者の技術向上やホームタウンチームである柏市への愛着を深めること	○	○	○	○	○	各スポーツ教室参加者合計					幅広い年齢層を対象に各種スポーツ教室を開催し、スポーツに触れる機会を提供した。 令和2年度も引き続きホームタウンチームと連携し、各種スポーツ教室を開催する。	ホームタウンチームと連携した事業を展開することで、市民が柏市への愛着を深めるとともに、スポーツへの関心や参加機会を増進し、スポーツを活かしたまちづくりを推進する。
												H27	H28	H29	H30	R元		
保健福祉部 地域包括支援課 市民生活部 保険年金課	フレイル予防事業(ロコモフィットかしわ)	市民の身近な地域において、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の予防に関する座学と運動指導を行う。講座終了後は、自主グループとして継続的に活動できるよう支援を行う。  (40～64歳の国保被保険者も含む)	柏市在宅リハビリテーション連絡会、東京大学高齢社会総合研究機構、地域包括支援センターなど	①セントラルスポーツ株式会社(委託) ②なし	市民が主体的にロコモ予防に取り組むことで、生活習慣病予防、介護予防を推進する。	△	○	ロコモフィットかしわ参加者数					毎年講座終了後に自主グループが立ち上がり、ロコモ予防に継続的に取り組む市民の増加につながっている。令和2年度は、コロナ感染拡大防止のため前期講座の実施は難しいが、後期の講座実施を通し、自主グループの立ち上げを引き続き支援していく。	H25年度から講座を開始し、全てのコミュニティエリアで自主グループが立ち上がった。令和3年度以降は、市主催事業である本講座は終了し、自主グループ活動の支援継続や通いの場等での地域でのフレイル予防活動を、地域包括支援センターと連携し推進する。				
								H27	H28	H29	H30	R元			1,018人	1,168人	1,340人	1,402人

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方針
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
保健福祉部 福祉政策課 地域包括支援課	柏フレイル予防プロジェクト2025 (* )	「フレイル(虚弱)」という概念を新たに取り入れ、市民、関係団体、学識経験者、市による「推進委員会」を設置・運営しながら、健康づくり事業の効果的な運動と地域を基盤とした市民主体の活動を推進	医師会、歯科医師会、薬剤師会、東京大学、ふるさと協議会、社会福祉協議会、民生委員児童委員、柏市民健康づくり推進員、スポーツ推進委員、東葛北部栄養士会、リハビリテーション連絡会、地域包括支援センターなど	①第一生命、介護事業者、イオン、JR東日本、日立、フィットネス振興会 ②日立、フィットネス振興会	市民の意識・行動変容(栄養、身体活動、社会参加の促進)							推進委員会実施回数 H27 H28 H29 H30 R元 1回 3回 3回 2回 1回	令和元年度は、市内全域でのフレイルチェックの展開とともに、フレイル予防啓発チラシの小中学校配布、車両貼付マグネットシートを介護事業者車両、ゴミ収集車等に貼付、啓発動画の作成など、新規施策も含めて幅広く普及啓発活動を実施した。今後は、令和2年4月からスタートした柏市フレイル予防ポイント制度について、スポーツジムなど民間事業者を広く巻き込んだ事業拡大や、東大、日立と連携したAIを使ったフレイル予防の可能性検証など、柏フレイル予防プロジェクトのより幅広い展開に取り組む。	フレイル予防の普及・啓発と効果的な促進、地域における市民主体の活動の促進、フレイル予防に係る関係機関の連携・運動を推進し、まちづくりの実現を目指す。
保健福祉部 地域包括支援課	フレイル予防事業 (※)	主に高齢者に対するフレイル(介護)予防事業のうち、身体活動をテーマとしたプログラムについて、リハビリテーション専門職、運動トレーナー等が講座を開催する。	柏市在宅リハビリテーション連絡会、柏市社会福祉協議会、柏市地域包括支援センターなど	①なし ②なし	市民の意識・行動変容(身体活動の促進)							フレイル予防講座(運動)の参加者数 H27 H28 H29 H30 R元 — 8,625人 6,387人 5,798人 6,306人 介護予防センター主催の教室 — 1,157人 868人 1,509人 1,274人 フレイル予防出前講座 — 704人 336人 1,131人 983人 地域包括支援センター主催の教室	令和元年度は、介護予防センターと地域包括支援センターの共催によるフレイル予防講座を2地域で実施。共催とすることで、フレイルリスクの高い方の参加につながり、より具体的な地域の情報提供なども行うことができた。令和2年度も共催の講座を3地域で実施予定。各地域でフレイルチェックを実施し、フレイル予防講座の受講により、市民がフレイル予防を日常生活の中で具体的に実践できることを目指していく。	フレイルチェックを受けた方がフレイル予防講座につながるような、効果的に運動できる体制整備を図っていく。
保健所 健康増進課	地域ウォーク	＜地域ウォーク＞ 歩くことが好きな市民を増やす目的で開催する。  ＜ウォーキングパスポート＞ 身近な運動である「歩くこと」が好きな市民が増え、主体的・積極的な健康づくりが進められるよう、ウォーキングパスポートの活用促進を展開する。  ＜手賀沼ふれあいウォーク＞ ※H30年度で終了	市民ウォーキング団体 千葉県ウォーキング協会 我孫子市	①(株)タカラック、三井不動産、UDCK ②なし	・歩くことが好きな市民が増える ・市民が運動を始めるきっかけとなる							実施状況 H27 H28 H29 H30 R元 1回 1回 1回 1回 — 手賀沼ふれあいウォーク実施回数 1,189人 207人 295人 658人 — 手賀沼ふれあいウォーク参加者数 224冊 123冊 2,289冊 2,036冊 2,323冊 ウォーキングパスポート発行数 — — — — 1回 ウォーキングイベント回数 — — — — 約1,000人	令和元年度は手賀沼ふれあいウォークに代わり、柏の葉ららぽーとにおいてウォーキングイベントを開催した。用意する機材の関係で先着500グループを対象に実施したところ、開始20分で機材が消尽することとなった。その後のアンケートでは90%弱の参加者が好意的な評価であった。一方、イベント開催に伴う費用対効果や、参加者の運動継続性については評価しにくいのが実情である。	費用や効果測定が難しい。今後は働く世代の運動量増加を目指し、市内事業者や保健所内での啓発や事業を実施していきたい。

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性					
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 地域保健課	地域ウォーキング	<p>&lt;地域ウォーキング&gt; 柏市民健康づくり推進員が主催し、各地域で住民同士の仲間づくりとウォーキングをはじめのきっかけづくりを図る</p> <p>柏市民健康づくり推進員が主催するウォーキング以外の運動講座</p>	<p>庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員</p> <p>各種団体及び企業関係</p>	<p>①なし ②なし</p>	<p>・市民が運動を始めるきっかけとなる</p> <p>・市民の運動時間が増える</p>							実施状況	<p>柏市の各地域における推進員の協力を得ることにより、一定の周知・啓発活動を展開することができた。令和2年度も、健康教育や啓発等を実施し、地域における健康づくりを推進する。</p>	<p>引き続き、健康教育や啓発等を実施し、地域における健康づくりを推進する。</p>					
												H27			H28	H29	H30	R元	
						地域ウォーキング実施回数						12回			17回	12回	12回	11回	
						地域ウォーキング参加者数						251人			374人	151人	153人	177人	
						地域健康(ウォーキング以外)講座実施回数						10回			13回	31回	11回	9回	
						地域健康講座参加者数						470人			557人	593人	461人	332人	
保健所 地域保健課	啓発事業 (※)	<p>地域サロン等を中心とした健康教育や各イベントの中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発および地域支援を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。</p>	<p>庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員</p> <p>各種団体及び企業関係</p>	<p>①なし ②なし</p>	<p>幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。</p>							依頼の健康教育実施者数(全数)	<p>ホームページやチラシ等を用いて周知し、地域サロンを中心とした依頼の健康教育を実施した。啓発ワーキングと連携し、健康に関する内容を付加し実施していく。</p>	<p>引き続き、啓発ワーキングと連携した健康教育を実施し、地域活動を行っていく。</p>					
												H27			H28	H29	H30	R元	
												-			2,298人	2,169人	758人	651人	
保健所 健康増進課	健康づくり普及啓発事業 (※)	<p>イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。</p>	<p>庁内関係各課 各種団体及び企業関係</p>	<p>①モラージュ柏 第一生命 タカラッシュ 花王 ②なし</p>	<p>幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。</p>							啓発実施者数(全数)	<p>令和元年度は各種イベントにて幅広い内容の健康啓発を実施したため、H27年に次いで多くの市民に健康情報を発信することができた。また、「第一生命」との協定により、第一生命の顧客へ毎月市で作成した「かしわ健康メッセージ」を配布したり、「モラージュ柏」で発行している「モラージュママ」を通じて健康情報を定期的に発信することができた。さらに、ウォーキングイベントでは試験的に例年とは異なるイベントを実施することで、企業と連携しながら働く世代への健康啓発を行うことができた。令和2年度は、引き続き「第一生命」および「モラージュ柏」と連携し、健康情報を広く周知、啓発していく予定。また、地域職域と連携し、一般企業等への健康に関する啓発物品(脂肪模型等)の貸し出しを開始する。</p>	<p>健康増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を行っていく。</p>					
												H27			H28	H29	H30	R元	
												5,235人			4,869人	1,872人	2,657人	4,973人	
						※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む						啓発実施者数(身体活動・運動)							
												2,394人			2,173人	1,315人	717人	1,035人	
						※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む						依頼の健康教育参加者数(講師:保健師)							
												-			-	-	95人	38人	
※H30年度~健康増進課として計上																			



所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方針							
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期										
保健所 健康増進課	地域・職域連携推進事業	柏地域・職域連携推進協議会 事業所向けの健康情報等のメール配信 啓発リーフレットの配付 事業所向け講習会	柏労働基準監督署 柏労働基準協会 柏商工会議所 柏市沼南商工会 代表企業(2社) 東葛北部地域産業保健センター 全国健康保険協会千葉支部 柏市医師会 柏歯科医師会	①健康づくりに取り組む事業所(3社) ②なし	働く世代の生活習慣病予防とこころの健康づくりの推進  社員の健康づくりに積極的に取り組む事業所の増加							メール配信登録事業所数					元年度は年間11回のメール配信を行う中で、運動や運動関連イベントの情報を配信。健康づくりに取り組む事業所紹介は3社実施。引き続きメール配信の周知を行う。 食生活、運動、こころの健康、禁煙、歯・口腔の健康、健(検)診や各種相談窓口の情報をまとめたリーフレットを作成し、事業所等に配付。保健所だよりも活用した。 年2回の会議の中で、地域と職域の活動について確認・共有を実施した。 柏労働基準監督署と保健所の連名で「健康経営」をテーマにした講習会を実施。 今年度は、健康増進に関するリーフレットを作成し、配布する。	働く世代の健康づくり、職場での健康づくりの推進につながる配信内容、啓発方法の検討を実施			
												H27	H28	H29	H30	R元					
												13社	27社	36社	47社	60社					
												講習会参加事業所数									
											8社	15社	29社	52社	43社						
地域づくり推進部 スポーツ課	スポーツ施設予約システム	利用者の利便性を図る。	-	①なし ②スポーツ施設指定管理者(協栄・アシックスグループ)	スポーツ施設利用者数の増加							スポーツ施設利用者数					スポーツ施設予約システムの利用方法の周知、スポーツ大会等の情報提供を行い、利用者の利便性を図った。	スポーツ施設利用者数の増加を図るため、システムを継続して運用していく。			
																H27			H28	H29	H30
												838,827人	888,964人	885,602人	954,675人	855,625人					
地域づくり推進部 スポーツ課	学校体育施設開放	市民の地域におけるスポーツ活動の振興を図る。	市内各小中学校	①なし ②なし	利用者数の増加							学校体育施設利用者数					利用団体の自主的運営促進のため、利用団体から選出される総括管理責任者を連絡調整の中心とする形とした。 令和2年度は、他自治体の事業運営方法を調査し、抜本的な見直しを含め事業のあり方を検討していく。	より多くの市内スポーツ団体が学校体育施設開放を利用できるよう、申請受付方法や利用許可条件の見直しを行っていく。			
																			355,702人	345,890人	319,042人
地域づくり推進部 スポーツ課	スポーツ推進委員活動	地域スポーツの推進役として、日ごろスポーツをしない人への動機づけなどを行い、スポーツ実施率の向上を図る。	柏市スポーツ推進委員協議会	①なし ②なし	参加者増加とスポーツ実施率の向上							スポーツ推進委員活動参加者数					市ホームページや広報紙を活用し、活動の充実及び委員の増員を図った。令和2年度は引き続き委員の増員に努めるとともに、組織のあり方についても検討していく。	市民のスポーツ活動を更に推進していくため、委員の増員を図り、スポーツ推進委員の活動を更に充実させるよう支援していく。			
												3,002人	2,986人	2,944人	3,122人	3,303人					

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
地域づくり推進部 スポーツ課	総合型地域スポーツクラブの育成	クラブが活動する拠点の確保や運営のためのスタッフの確保、クラブを知ってもらうための広報活動を支援する。	市内総合型地域スポーツクラブ	①なし ②なし	市内クラブの 会員数の増加		○	○	○	○	○	市内クラブ会員数 H27 H28 H29 H30 R元 1,315人 1,234人 1,134人 1,221人 1,319人	各団体の活動場所について調整などを行うとともに広報活動により参加者の募集を行う。	会員数の増加を図るため、引き続き広報活動により市内総合型地域スポーツクラブの支援をしていく。
地域づくり推進部 スポーツ課	スポーツ教室・講習会	スポーツへの参加を促進するため、市主催の事業の他体育協会や指定管理者によるスポーツ教室を開催する。	柏市スポーツ協会 柏市スポーツ推進委員協議会 他	①なし ②なし	参加者の増加	○	○	○	○	○	スポーツ教室・講習会参加者数 H27 H28 H29 H30 R元 5,383人 5,087人 5,633人 4,388人 6,299人	平成28年度から市民参加体験型のスポーツイベントを開催し、スポーツを「する」きっかけづくりの場を提供している。指定管理者による自主事業では、「柏市スポーツ施設情報誌」やホームページ、広報などの媒体を使い周知を図っている。	市民がスポーツに親しむことができるよう、より多くの機会を提供していく。	
地域づくり推進部 スポーツ課	補助金の交付	スポーツ団体に対し補助金を交付することで、スポーツ事業の充実を図る。	柏市スポーツ協会 柏市女性スポーツ協会 スポーツ少年団	①なし ②なし	交付団体の 市民大会などの 参加者の増加					○	○	交付団体の市民大会などの参加者数 H27 H28 H29 H30 R元 42,285人 48,204人 51,109人 42,284人 41,514人	補助金の交付により、交付団体主催による市民大会等の事業が開催され、交付団体の事業の充実が図られている。	引き続き補助金を交付し、スポーツ事業の充実を図っていく。
地域づくり推進部 スポーツ課	新春マラソン大会	市民を対象としたマラソン大会を開催する。	柏市スポーツ協会 柏市スポーツ推進委員協議会 他	①なし ②なし	参加者の増加					○	○	新春マラソン大会参加者数 H27 H28 H29 H30 R元 1,529人 1,426人 1,892人 1,630人 1,732人	平成29年度より、市外からの参加も可能とし、幅広い参加者の増員を図っている。令和2年度は「第60回記念大会」のため、記念品等の大会の充実に向けた工夫をし、子どもや親子の参加を中心に参加者の増加を図りたい。	子どもや親子の参加を促す広報活動を強化していく。
地域づくり推進部 スポーツ課	手賀沼エコマラソン大会	市民の健康増進と街の活性化、及び手賀沼の浄化啓発を図る。	柏市スポーツ協会 柏市スポーツ推進委員協議会 他	①なし ②なし	参加者の増加					○	○	手賀沼エコマラソン大会参加者数 H27 H28 H29 H30 R元 7,997人 8,892人 6,012人 9,080人 9,027人	平成29年度から定員10,000人、参加費5,000円とし、適正な規模の大会運営ができています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となってしまうが、令和3年度大会に向けて、さらに安心・安全な魅力ある大会を目指していく。	全国的にランニングブームが停滞している中で、マラソン大会は増えており、参加者の確保が課題、参加者の獲得に向けて今まで以上に工夫が必要であるため、実行委員会(行政含む)で協議したい。
生涯学習部 中央公民館	成人教育事業 「いきいき健康ライフ講座」	長寿社会の中で元気にいきいきと過ごす手立てを学ぶ	—	—	運動することの喜びや運動に対する達成感を味わう					○	○	いきいき健康ライフ講座参加者 H27 H28 H29 H30 R元 28人 — 28人 — —	事業の見直しにより、「食育講座」を「いきいき健康ライフ講座」に一本化し、長寿社会の中でいきいきと過ごす手立てを学べる講座とした。なお、取り組み内容が、心の健康に関するものであったため、「3休養・心の健康」欄に記載した。	令和2年度の実施状況及びアンケート結果などを考慮して、よりニーズのある内容を検討していく。

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性			
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期						
学校教育 部 指導課	学校体育の 促進関連事 業	①「新体力テスト」の実施 市内小中学校児童生徒・ 握力等計8項目 ②「小学校体育授業サ ポート事業」 小学校10校・特別支援学 級を中心とした体育の授 業支援 ③「運動部活動指導者派 遣事業」 中学校運動部活動・専門 的な指導ができる運動部 活動指導者の派遣	千葉県小中学 校体育連盟柏 支部	①オークスフィ ットネス、セントラ ルスポーツ、各 校で選出した部 活動指導者、契 約課により契約 されたサポート 事業担当者 ②なし	①児童生徒の体 力向上 ②支援を必要と する児童の運動 への意欲・技能 の向上 ③運動部活動に 加入している生 徒の意欲・技能 の向上	○	△				①全国平均を上回る項目					小中学校全校にて体力テストを実施 した。国や県の水準から下回る種目 が多くなっているため、体力的な課 題を明確にし、各校が具体的な取り 組みを行いたい。 小学校学校体育サポート事業として 小学校11校の3年生を対象に外部 委託による体操の授業を行った。子 どもの技能向上には有効であった。 令和2年度にてすべての小学校へ の派遣が完了するため、今後の事 業の在り方について方向性を定める ことが課題。 部活動指導者派遣事業により、134 名の部活動指導者を派遣し、部活動 の充実を図った。指導者の採用が難 航する学校が複数あったため、これ までの実績から、派遣可能な人材の 情報を学校に提供することが課題。	部活動ガイドラインを改 定し、令和3年度より実 施する。 小学校の水泳授業委 託事業や体育授業サ ポート事業を拡大し、体 力向上と教師の指導力 向上を進められるよう 検討。
											H27	H28	H29	H30	R元		
											47.9%	43.7%	38.1%	40.9%	33.3%		
											②年間210時間の授業支援・ 実施校の満足度						
											100%	100%	100%	—	—		
③中学校運動部活動指導者派遣数					各校 2~5人 計80人	各校 3~5人 計87人	各校 3~5人 計87人	各校 3~5人 計84人	各校 0~5人 計85人								
実施幼稚園数																	
H27	H28	H29	H30	R元													
33園	33園	33園	35園	35園	実施幼稚園児数					令和元年度は、各園で目指す子供 の姿を明確にし、さらに多様な動き を取り入れることを目標とし、運動遊 び指導者講習会の開催や、運動能 力測定及び園生活調査、家庭生活 調査、10年間の調査結果の取りま とめを実施した。これらをふまえ、共 同研究発表会の開催や、「柏市幼児 教育共同研究のあゆみ」の発行、ま た、保護者向けリーフレットを配布 し、関係者との共有を図った。							
5,574人	5,336人	5,064人	5,013人	4,680人	実施保育園数												
56園	63園	66園	70園	59園	実施保育園児数												
2,013人	2,051人	2,150人	2,173人	2,126人	運動事業利用者数						平成29年度から保健事業利用助成 事業のメニューに、運動習慣の獲得 及び継続を支援し、健康の保持増進 を図ることを目的と運動事業を追 加した。 保健事業利用券申請者に対する運 動事業の利用者の割合は年々増加 している。 特定健康診査等で、生活習慣の改 善を要し、運動習慣の獲得等が望ま しい方に対し、積極的に保健事業利 用助成事業の利用案内を実施して いく。						
H27	H28	H29	H30	R元	運動事業利用者数												
一人	一人	421人	560人	664人													
市民生 活部 保険年 金課	保健事業利 用費助成事 業 (運動事業)	18歳以上の柏市国保被 保険者と後期高齢者医療 保険被保険者に対し、申 請に基づき保健事業利用 券を年間8枚交付(1枚 1,000円相当)。18歳から 39歳の健診事業、はり等 施術事業、お口のクリ ーニング事業、運動事業に 利用できる。 運動事業は、運動習慣の 獲得及び継続を支援する ため、市の指定を受けた 運動施設で入会時にか かる費用や運動指導・運 動教室の利用費用を助 成する。	柏市フィットネス 振興会 スポーツ課	①「運動事業」 指定施設 「運動教室」指 定施設 ②なし	被保険者の健康 の保持増進	○	○	○	○	○						被保険者の健康の保 持増進を図るため、事 業を継続実施していく。	

(2) 身体活動・運動に取り組みやすい環境づくり

③1日の歩行時間の増加

④地域活動やボランティア活動への参加意識向上

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性									
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期												
保健所 地域保健課	啓発事業 (※)	地域サロン等を中心とした健康教育や各イベントの中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発および地域支援を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	①なし ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)	柏市の各地域における推進員の協力を得ることにより、一定の周知・啓発活動を展開することができた。令和2年度も、健康教育や啓発等を実施し、地域における健康づくりを推進する。	引き続き、健康教育や啓発等を実施し、地域における健康づくりを推進する。									
												H27			H28	H29	H30	R元					
												5,235人			4,869人	3,979人	3,705人	3,014人					
						※～H28年度については、下記内容と再掲						啓発実施者数(身体活動・運動)											
												2,394人	2,173人	2,737人	3,705人	2,874人							
※～H28年度については、下記内容と再掲																							
保健所 健康増進課	健康づくり普及啓発事業 (*)	イベント、健康教育等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	①第一生命 モラージュ柏 タカラッシュ 花王	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)	各種イベントにて幅広い内容の健康啓発を実施したため、H27年に次いで多くの市民に健康情報を発信することができた。また、令和元年度は「第一生命」との協定により、第一生命の顧客へ毎月市で作成した「かしわ健康メッセージ」を配付したり、「モラージュ柏」で発行している「モラージュママ」を通じて健康情報を定期的に発信することができた。さらに、ウォーキングイベントでは試験的に例年とは異なるイベントを実施することで、企業と連携しながら働く世代への健康啓発を行うことができた。令和2年度は、引き続き「第一生命」および「モラージュ柏」と連携し、健康情報を広く周知、啓発していく予定。	健康増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を行っていく。									
												H27			H28	H29	H30	R元					
												5,235人			4,869人	1,872人	2,657人	4,973人					
						※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む						啓発実施者数(身体活動・運動)											
																			2,394人	2,173人	1,315人	717人	1,035人
						※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む						依頼の健康教育参加者数(保健師)											
																			-	-	-	95人	38人
※H30年度～健康増進課として計上																							

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
保健所 健康増 進課	ウォーキング 推進事業 (* )	<p>&lt;ウォーキングパスポート&gt; 身近な運動である「歩くこと」が好きな市民が増え、主体的・積極的な健康づくりが進められるよう、ウォーキングパスポートの活用促進を展開する。</p> <p>&lt;手賀沼ふれあいウォーク&gt; ※H30年度で終了</p>	市民ウォーキング団体 千葉県ウォーキング協会	①タカラッシュ、三井不動産、UDCK	<p>・歩くことが好きな市民が増える</p> <p>・市民が運動を始めるきっかけとなる</p>	△	○	○	○	○	△	実施状況					令和元年度は手賀沼ふれあいウォークに代わり、柏の葉らぽーとにおいてウォーキングイベントを開催した。用意する機材の関係で先着500グループを対象に実施したところ、開始20分で機材が消尽することとなった。その後のアンケートでは90%弱の参加者が好意的な評価であった。一方、イベント開催に伴う費用対効果や、参加者の運動継続性については評価しにくいのが実情である。	費用や効果測定のしやすさ等を踏まえると、継続的なイベント開催は難しい。今後は働く世代の運動量増加を目指し、市内事業者や保健所内での啓発や事業を実施していきたい。
												H27	H28	H29	H30	R元		
												手賀沼ふれあいウォーク実施回数						
												1回	1回	1回	1回	0回		
												手賀沼ふれあいウォーク参加者数						
												1,189人	207人	295人	658人	0人		
												ウォーキングパスポート発行数						
												224冊	123冊	2,289冊	2,036冊	2,323冊		
												ウォーキングイベント回数						
												—	—	—	—	1回		
ウォーキングイベント参加人数																		
—	—	—	—	約1,000人														
保健所 地域保 健課	啓発事業 (* )	<p>&lt;地域ウォーキング&gt; 柏市民健康づくり推進員が主催し、各地域で住民同士の仲間づくりとウォーキングをはじめのきっかけづくりを図る</p> <p>柏市民健康づくり推進員が主催するウォーキング以外の運動講座</p>	柏市民健康づくり推進員	①なし ②なし	<p>・市民が運動を始めるきっかけとなる</p> <p>・市民の運動時間が増える</p>	○	○	○	○	○	○	実施状況					令和元年度は、各地域の地域特性や健康課題に応じて、実施し、一定の参加者数を得た。令和2年度も、各地域の地域特性や健康課題に応じながら、フレイル予防、ロコモ等の柏市として進める運動活動を、他部署と連携を図り、周知啓発をしていく。	引き続き、健康教育や啓発等を実施し、地域における運動活動を推進する。
												H27	H28	H29	H30	R元		
												地域ウォーキング実施回数						
												12回	17回	12回	12回	11回		
												地域ウォーキング参加者数						
												251人	374人	151人	153人	177人		
												地域健康講座実施回数						
												10回	13回	31回	11回	9回		
												地域健康講座参加者数						
												470人	557人	593人	461人	332人		
地域づく り推進 部 スポーツ 課	スポーツ推 進委員活動 (* )	地域スポーツの推進役として、日ごろスポーツをしない人への動機づけなどを行い、スポーツ実施率の向上を図る。	柏市スポーツ推進委員会	①なし ②なし	参加者増加と、スポーツ実施率の向上	○	○	○	○	○	○	スポーツ推進委員活動参加者数					市ホームページや広報紙を活用し、活動の充実及び委員の増員を図った。令和2年度は引き続き委員の増員に努めるとともに、組織のあり方についても検討していく。	市民のスポーツ活動を更に推進していくため、委員の増員を図り、スポーツ推進委員の活動を更に充実させるよう支援していく。
												H27	H28	H29	H30	R元		
												3,002人	2,986人	2,944人	3,122人	3,303人		



### 3. 休養・こころの健康

(1)睡眠等による十分な休養の確保														
①睡眠による休養を十分にとれていない人の割合の減少														
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
保健所 保健予 防課	こころの病気の啓発・普及活動	<p>〈出前講座〉 こころの健康について講座形式で、正しい知識の普及啓発を行う。</p> <p>〈市民講座〉 講演会により、精神疾患に関する正しい知識の普及啓発を行う。</p>	—	<p>①たんぼぼセンター（精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業）</p> <p>②なし</p>	より多くの市民が、こころの健康や精神疾患に関する理解を深め、正しい知識を学ぶことができる。							<p>出前講座参加者数</p> <p>H27 延365人 H28 延232人 H29 延629人 H30 延777人 R元 延652人</p> <p>市民講座参加者数</p> <p>77人 74人 87人 53人 68人</p>	<p>令和元年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び令和2年度の取り組みについて</p> <p>出前講座は申し込み件数、参加人数等ほぼ一定の実施件数であるが、最近の傾向として、精神障害者等を支える地域の関係機関からの申し込みが増えている。</p> <p>また、引き続き地域職域連携協議会との連携を進めていく。</p> <p>市民講座は意外と身近な精神科～精神科受診が必要な時」を実施。地域で今後も広く一般に精神保健を知っていただく機会となった。</p> <p>講演会は、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業で検討する。</p>	事業を継続。地域のこころの健康に関する知識や理解を深めるために「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」構築推進していく。
(2)上手なストレス解消														
②ストレスを感じた人の割合の減少														
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
保健福 祉部 福祉政 策課 地域包 括支援 課	柏フレイル予防プロジェクト2025（*）	「フレイル（虚弱）」という概念を新たに取り入れ、市民、関係団体、学識経験者、市による「推進委員会」を設置・運営しながら、健康づくり事業の効果的な運動と地域を基盤とした市民主体の活動を推進	医師会、歯科医師会、薬剤師会、東京大学、ふるさと協議会、社会福祉協議会、民生委員児童委員、柏市民健康づくり推進員、スポーツ推進委員、東葛北部栄養士会、リハビリテーション連絡会、地域包括支援センターなど	<p>①第一生命、介護事業者、イオン、JR東日本、日立、フィットネス振興会</p> <p>②日立、フィットネス振興会</p>	市民の意識・行動変容（栄養、身体活動、社会参加の促進）							<p>推進委員会実施回数</p> <p>H27 1回 H28 3回 H29 3回 H30 2回 R元 1回</p>	<p>令和元年度は、市内全域でのフレイルチェックの展開とともに、フレイル予防啓発チラシの小中学校配布、車両貼付マグネットシートを介護事業者車両、ゴミ収集車等に貼付、啓発動画の作成など、新規施策も含めて幅広く普及啓発活動を実施した。</p> <p>今後は、令和2年4月からスタートした柏市フレイル予防ポイント制度について、スポーツジムなど民間事業者を広く巻き込んだ事業拡大や、東大、日立と連携したAIを使ったフレイル予防の可能性検証など、柏フレイル予防プロジェクトのより幅広い展開に取り組む。</p>	フレイル予防の普及・啓発と効果的な促進、地域における市民主体の活動の促進、フレイル予防に係る関係機関の連携・運動を推進し進めフレイル予防によるまちづくりの実現を目指すしていく。

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性																														
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																																	
保健所 保健予防課	こころの病気の啓発・普及活動 (*)	<p>&lt;出前講座&gt; こころの健康について講座形式で、正しい知識の普及啓発を行う。</p> <p>&lt;市民講座&gt; 講演会により、精神疾患に関する正しい知識の普及啓発を行う。</p>	—	①なし ②なし	より多くの市民が、こころの健康や精神疾患に関する正しい知識を学ぶことができる。							<p>出前講座参加者数</p> <table border="1"> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> </tr> <tr> <td>延365人</td> <td>延232人</td> <td>延629人</td> <td>延777人</td> <td>延652人</td> </tr> </table> <p>市民講座参加者数</p> <table border="1"> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> </tr> <tr> <td>77人</td> <td>74人</td> <td>87人</td> <td>53人</td> <td>68人</td> </tr> </table>	H27	H28	H29	H30	R元	延365人	延232人	延629人	延777人	延652人	H27	H28	H29	H30	R元	77人	74人	87人	53人	68人	<p>出前講座は申し込み件数、参加人数等ほぼ一定の実施件数であるが、最近の傾向として、精神障害者等を支える地域の関係機関からの申し込みが増えている。</p> <p>また、引き続き地域職域連携協議会との連携を進めていく。</p> <p>市民講座は意外と身近な精神科～精神科受診が必要な時」を実施。地域で今後も広く一般に精神保健を知っていただく機会となった。</p> <p>講演会は、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業で検討する。</p>	事業を継続。地域のこころの健康に関する知識や理解を深めるために「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」構築推進していく。										
H27	H28	H29	H30	R元																																								
延365人	延232人	延629人	延777人	延652人																																								
H27	H28	H29	H30	R元																																								
77人	74人	87人	53人	68人																																								
保健所 保健予防課	本人・家族の相談・訪問支援等 (*)	<こころの健康相談> 精神科嘱託医や職員によるこころの健康に関する相談。	—	①なし ②なし	精神的な問題を抱えた本人や家族を支援し、生活の質の向上を目指す。							<p>精神科医による相談数(回数)</p> <table border="1"> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> </tr> <tr> <td>46件</td> <td>54件</td> <td>55件</td> <td>46件</td> <td>49件</td> </tr> </table> <p>職員による面談や訪問(延数)</p> <table border="1"> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> </tr> <tr> <td>1,357件</td> <td>1,636件</td> <td>1,800件</td> <td>1,549件</td> <td>1,774件</td> </tr> </table> <p>電話相談</p> <table border="1"> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> </tr> <tr> <td>6,660件</td> <td>7,570件</td> <td>8,235件</td> <td>7,529件</td> <td>7,827件</td> </tr> </table>	H27	H28	H29	H30	R元	46件	54件	55件	46件	49件	H27	H28	H29	H30	R元	1,357件	1,636件	1,800件	1,549件	1,774件	H27	H28	H29	H30	R元	6,660件	7,570件	8,235件	7,529件	7,827件	<p>精神科嘱託医や職員によるこころの健康相談を実施し、関係機関や連携を図りながら本人や家族の支援を行った。相談件数が増加しており、安全で迅速な対応ができるよう関係機関等との調整を図り、体制づくりを行っていく。</p>	継続
H27	H28	H29	H30	R元																																								
46件	54件	55件	46件	49件																																								
H27	H28	H29	H30	R元																																								
1,357件	1,636件	1,800件	1,549件	1,774件																																								
H27	H28	H29	H30	R元																																								
6,660件	7,570件	8,235件	7,529件	7,827件																																								
こども部 子育て支援課 生涯学習部 図書館 保健所 地域保健課	ブックスタート事業	1歳6か月児健康診査を受診する親子に対し、市民ボランティアが読み聞かせ体験と絵本をお渡ししする。	柏市ふれあいブックスタートの会	①なし ②なし	・絵本を通じ、親子のふれあいや保護者の心安らぐ時間をつくり、子どもの豊かな心を育む ・ことばかけやふれあいにより、愛される経験、守られている経験を積み重ねることが愛着形成につながり、乳幼児の健全な成長を図る。							<p>受取者数</p> <table border="1"> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> </tr> <tr> <td>3,120人</td> <td>3,407人</td> <td>3,391人</td> <td>3,341人</td> <td>3,284人</td> </tr> </table>	H27	H28	H29	H30	R元	3,120人	3,407人	3,391人	3,341人	3,284人	<p>令和元年度4月～令和2年2月の計11か月間で、延べ474人のボランティアが参加し、ブックスタート事業を実施。ほぼ全ての受診者が絵本を受け取った。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症予防のため、令和2年3月はボランティア活動は休止。フォロー体制として読み聞かせの意義を伝える「ブックスタートアドバイスブックレット」を配布した。ブックスタート担当職員がボランティアに代わって事業を実施した。</p> <p>緊急事態宣言を受け令和2年4月からは1歳6か月児健康診査自体が延期となっており、絵本・ブックレット共に配布ができない状況となっている。ボランティア活動の制限など新型コロナウイルスによる影響が考えられるため、事業再開後の受診親子及びブックスタートボランティアへのフォローが課題となっている。関係課及び連携機関で事業のあり方を協議検討していく。</p>	令和2年度の協議検討結果に基づき、令和3年度の方向性を決定する。																				
H27	H28	H29	H30	R元																																								
3,120人	3,407人	3,391人	3,341人	3,284人																																								
こども部 子育て支援課 こども部 保育運営課	地域子育て支援拠点事業	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業(児童福祉法第6条の3第6項に規定される事業)	—	①なし ②なし	子育て中の親子の孤立や子育てに対する不安の減少。							<p>地域子育て支援拠点事業 延利用者数</p> <table border="1"> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> </tr> <tr> <td>117,956人</td> <td>119,872人</td> <td>116,807人</td> <td>123,248人</td> <td>122,973人</td> </tr> </table>	H27	H28	H29	H30	R元	117,956人	119,872人	116,807人	123,248人	122,973人	<p>単独型の拠点である「はぐはぐひろば沼南」と「はぐはぐひろば若柴」では、施設の工事・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休業期間があったが、年間の利用者は約34,000人となった。</p> <p>令和2年度は、アンケート調査等により利用者のニーズを把握し、単独型の拡充に向けた調査・研究を行う。</p> <p>また、既存施設については、感染症予防の視点を持ちながら内容を充実を目指す。</p>	令和2年度の検討に基づき、施設の拡充推進や質の維持・向上に資する取り組みを行う。																				
H27	H28	H29	H30	R元																																								
117,956人	119,872人	116,807人	123,248人	122,973人																																								

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性	
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期				
生涯学 習部 中央公 民館	高齢者教育 事業 かたくり学級	高齢者に積極的に学習 の場に参加してもらった ため、多分野にわたり新鮮 な情報を提供し、健康で 明るい暮らしや生きがい 探しを支援する。	—	①なし ②なし	・生きがいづくり や仲間づくり  ・健康維持・増進 を図り、健康で楽 しい日々を過ご せる							○	講座実施状況 H27 H28 H29 H30 R元 実施回数 5回 13回 11回 9回 — 参加者数 159人 364人 226人 217人 —	事業の見直しにより、「かたくり学級」と 「いきいきセミナー」を一本化し、新た に「生涯いきいきセミナー」として事業 の充実を図った。また、生きがいづくり や仲間づくりとしては、自主グループと しての活動がスタートした。	令和2年度の実施状況 及びアンケート結果な どを考慮して、よりニー ズのある内容を検討し ていく。
生涯学 習部 中央公 民館	家庭教育事 業 家庭教育講 演会	子育て支援を目的とした 「柏市私立幼稚園協会」 との連携事業。直面する 課題をテーマに講演会を 実施。子ども・家族・自分 自身を見つめ直し、新た な一歩を踏み出すきっか けづくりを目指す。	柏市私立 幼稚園協会	①なし ②なし	子育て中の親子 の孤立や子育て に対する不安の 解消							○	講座実施状況 H27 H28 H29 H30 R元 実施回数 1回 1回 1回 1回 — 参加者数 385人 234人 200人 134人 —	事業の見直しにより、「家庭教育セミ ナー」と「子育て支援講座」を一本化 し、子育てに関するあらゆる課題と向 き合い、家庭で抱える様々な課題解決 を図る。また、講演会は幼稚園協会と の連携事業で実施してきたが、見直し により講演会形式の講座のあり方につ いて検討することになった。 ただし、今回は実施時期が新型コロナ ウイルスの拡大防止時期と重なったた め中止となった。 (子育てすごろくトーク) (時短料理で楽しちゃおう！)	家庭教育事業としての 見直しを図るとともに、 他部署との連携に努め て実施していく。
生涯学 習部 中央公 民館	地域づくり事 業 現代課題講 座	地域社会が抱える様々な 問題を専門的な視点から 掘り下げ関心を高め、人 材育成を図り、地域課題 の解決へとつなぐことを めざす。	—	①なし ②なし	地域の不安の解 消							○	講座実施状況 H27 H28 H29 H30 R元 実施回数 1回 1回 3回 1回 4回 参加者数 77人 69人 91人 90人 100人	地域限定ではあったが、地域学習を通 じて、地域相互に連携・協働して学び 合い、支え合い、住みよいまちづくりの 推進を目的とした講演会やセミナーを 実施した。 (豊四季台くるるフェスタ2019) (豊四季台くるるセミナー) (地域と共に歩む学校づくり)	専門的な知識を掘り下 げた人材育成を実施し ていく。
～H27 生涯学 習部 沼南公 民館 H28～ 中央公 民館	高齢者教育 事業 いきいきセ ミナー	高齢者が健康でより充実 した豊かな人生を送るた め地域の方々と交流を深 め、互いに学ぶことにより、 良好な人間関係を築き社 会的能力を高め、めまぐる しく移り変わる社会に順 応できる能力を養う。	—	①なし ②なし	講座で学んだこ とを、生活の中 で取り入れてもら い、健康で長生 きをする。							○	講座実施状況 H27 H28 H29 H30 R元 実施回数 8回 8回 8回 8回 8回 参加者数 306人 280人 228人 118人 175人	事業の見直しにより、「かたくり学級」と 「いきいきセミナー」を一本化し、新た に「生涯いきいきセミナー」として事業 の充実を図った。 合唱や寸劇を体験的に学習することに より仲間づくりや生きがいのある人生 を送る機会を自ら創り出す能力を習得 した。 (今からはじめる音楽レッスン) (寸劇で学ぶコミュニケーション)	令和2年度の実施状況 及びアンケート結果な どを考慮して、よりニー ズのある内容を検討し ていく。
生涯学 習部 中央公 民館	成人教育事 業 「いきいき健 康ライフ講 座」	長寿社会の中で元気に いきいきと過ごす手立 てを学ぶ	—	①なし ②なし	怒りやストレスを 軽減する							○	いきいき健康ライフ講座参加者 H27 H28 H29 H30 R元 — — — 25人 14人	事業の見直しにより、「食育講座」と 「いきいき健康ライフ講座」を一本化 し、長寿社会の中でいきいきと過ごす 手立てを学べる講座とした。 様々なシチュエーションでの自己表現 を通じて円滑なコミュニケーション術を 体験的に学び、孤立しがちな地域高齢 者がいきいきと過ごす手立てを習得し た。 (お笑い一芸百選) なお、応募対象地域を限定したため、 地域づくり事業として実施した。	令和2年度の実施状況 及びアンケート結果な どを考慮して、よりニー ズのある内容を検討し ていく。



(3) 自殺予防対策																		
③ 自殺者数の減少																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
保健福祉部 社会福祉課 R2～ 福祉政策課	自殺予防対策事業	自殺者の減少を目的として、各関係機関との情報共有の場である自殺予防対策連絡会議を開催	庁内関係部局、医師会、民生委員児童委員協議会、柏警察署、千葉大学、柏商工会議所、柏労働基準監督署、柏市社会福祉協議会等	①なし ②なし	自殺者の減少	○	○	○	○	○	○	自殺者数					平成31年3月に策定した「柏市自殺予防対策計画」に基づき対策を推進している。 令和元年度は、11月に自殺予防対策庁内連絡会議を、1月に柏市自殺予防対策連絡会議を実施し、計画に基づく事業の進行管理及び庁内関係部署・連携機関間の情報共有を行った。 令和2年度についても、引き続き定期的な会議を開催していく。	自殺対策計画に位置づけた事業の進捗確認・評価等を中心に、引き続き会議を開催する。
												H27	H28	H29	H30	R元		
												68人	57人	68人	71人	未確定		
												人口10万人対率						
											16.4	13.7	16.2	16.7	未確定			
保健福祉部 社会福祉課 R2～ 福祉政策課	千葉県地域自殺対策強化事業費補助金事業	普及啓発・相談事業・人材育成・遺族支援・こころの健康づくり・医療連携の各事業を柱として、一次予防(事前予防)・二次予防(危機対応)・三次予防(事後対応)の観点から対策を実施	庁内関係部局、医師会、民生委員児童委員協議会、柏警察署、千葉大学、柏商工会議所、柏労働基準監督署、柏市社会福祉協議会等	①なし ②なし	自殺者の減少	○	○	○	○	○	○	自殺者数					令和元年度の事業のうち、無料対面談事業の相談件数は前年よりも増加し、認知行動療法サポーター養成講座(2回)、ゲートキーパー養成研修(1回)については定員を上回る応募があるなど、悩んでいる方が多く存在することが伺えた。 新規の取り組みとしては、麗澤大学との地域連携実習(大学生による課題解決型授業)を実施した。 継続事業としては、自死遺族支援事業、相談窓口冊子、カード等の作成・配付やツイッター配信等を実施した。 令和2年度は、反響の大きかったゲートキーパー養成研修を2回に拡大し、その他の事業についても継続していく。	令和2年度に引き続き、事業を実施する。 ゲートキーパー養成研修は、対象者やテーマを変えて拡大実施の方向。
												68人	57人	68人	71人	未確定		
												人口10万人対率						
											16.4	13.7	16.2	16.7	未確定			
保健所 保健予防課	本人・家族の相談・訪問支援等(*)	<こころの健康相談>精神科嘱託医や職員によるこころの健康に関する相談。	—	①なし ②なし	精神的な問題を抱えた本人や家族を支援し、生活の質の向上を目指す。							精神科医による相談数(回数)					精神科嘱託医や職員によるこころの健康相談を実施し、関係機関や連携を図りながら本人や家族の支援を行った。相談件数が増加しており、安全で迅速な対応ができるよう関係機関等との調整を図り、体制づくりを行っていく。	継続
												46件	54件	55件	46件	49件		
												職員による面談や訪問(延数)						
												電話相談						
											1,357件	1,636件	1,800件	1,549件	1,774件			
											6,660件	7,570件	8,235件	7,529件	7,827件			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
保健所 地域保 健課	啓発事業 (* )	地域サロン等を中心とした健康教育や各イベントの中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発および地域支援を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	①なし ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで健康に関する気づきの場を作る。							依頼の健康教育実施者数(全数)	ホームページやチラシ等を用いて周知し、地域サロンを中心とした依頼の健康教育を実施した。啓発ワーキングと連携し、健康に関する内容を付加し実施していく。	引き続き、啓発ワーキングと連携した健康教育を実施し、地域活動を行っていく。				
												H27			H28	H29	H30	R元
												-	2,298人	2,169人	758人	651人		
保健所 地域保 健課	妊娠届出受 理と母子健 康手帳交付 事業	妊娠届出受理時、専門職が面談をして、こころの健康チェックを実施。気分の落ち込みや不安の有無を確認し、早期に支援を開始する。	庁内関係各課 産科医療機関等	①なし ②なし	妊娠や出産への不安が高い方や、うつ病の疑いのある方に対し、早期発見・早期支援ができる。							母子健康手帳交付状況	妊娠届出受理時に、専門職による全数面談を実施。面談にて、書面上では把握できない気分の落ち込みや不安の有無等を確認し、要支援家庭を把握し、早期に必要な支援につなげた。産科医療機関や精神科医療機関と連携を図り、周産期メンタルヘルスカンファレンスを開催し、メンタルヘルスの問題を抱える妊産婦の支援を強化した。「駅前すこやかプチルーム」では、気軽に相談できる場を提供した。	4箇所の妊娠子育て相談センター(柏市役所・ウェルネス柏・沼南支所・柏駅前)にて、全数面談を継続。 ・周産期メンタルヘルスに関し、関係機関との連携強化 ・気軽に相談できる場の提供				
												H27			H28	H29	H30	R元
												3,414人			3,315人	3,303人	3,213人	3,257人
												母子健康手帳交付時の専門職の面談率						
											-	47.6%	73.0%	100%	100%			
											H29.10月より、専門職による全数面接の体制を整えた							
保健所 地域保 健課	乳児家庭全 戸訪問事業	市内の乳児がいる全家庭を訪問。生後3か月までに保健師・助産師が新生児訪問を実施し、育児支援チェックリスト・産後うつ等の早期発見のスクリーニング指標(EPDS)・赤ちゃんへの気持ち質問票(ボンディング)を用いて、育児ストレスが高いと思われる方への訪問等の継続支援を実施。	庁内関係各課 医療機関等 (産科、小児科、精神科等)	①なし ②なし	育児ストレスが高いと思われる方や、医療の必要な産後うつ病の疑いのある方に対し、早期発見・早期支援ができる。							乳児家庭全戸訪問事業実施者数	保健師、助産師による新生児訪問等において、産後うつ等こころの問題を抱える産婦を早期発見し、早期支援に繋げた。	市民に対する全数訪問の周知の強化 早期の訪問に向け、出生連絡票提出方法(電子申請など)の情報収集と検討				
												H27			H28	H29	H30	R元
												2,609人			3,006人	3,344人	3,295人	3,182人
												乳児家庭全戸訪問事業面談率						
											-	85.4%	95.7%	95.3%	96.2%			
											H28年度より、妊産婦・新生児訪問とこんにちは赤ちゃん訪問を統合し、乳児家庭全戸訪問事業を開始した。H29.4～全数訪問としての取り組みを開始。※H27以前は新生児訪問として希望者のみに実施していた。							



所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性								
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期											
保健所 健康増 進課	健康づくり普 及啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、 食、タバコ等健康に関す る啓発を実施。一般市民 を対象とし、幅広いテー マについての啓発を行 う。	庁内関係各課 各種団体及び 企業関係	①なし ②なし	幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること で、健康に関する 気づきの場を作 る。							啓発実施者数(全数)	令和元年度は各種イベントにて幅広い 内容の健康啓発を実施したため、H27 年に次いで多くの市民に健康情報を 発信することができた。休養・こころの 健康については、イベントにおいてスト レスチェックを実施予定であったが、台 風のため中止となり、実施ができな かった。次年度以降に再度企画する 予定。 また、「第一生命」との協定により、第 一生命の顧客へ毎月市で作成した「か しわ健康メッセージ」を配付したり、「モ ラージュ柏」で発行している「モーラ ージュママ」を通じて健康情報を定期 的に発信することができた。 令和2年度は、引き続き「第一生命」お よび「モーラージュ柏」と連携し、健康情 報を広く周知、啓発していく予定。ま た、地域職域と連携し、一般企業等へ の健康に関する啓発物品(脂肪模型 等)の貸し出しを開始する。	健康増進計画の目標 値達成に近づける内容 の啓発を行っていく。								
												H27			H28	H29	H30	R元				
																5,235人	4,869人	1,872人	2,657人	4,973人		
保健所 健康増 進課	地域・職域連 携推進事業	柏地域・職域連携推進協 議会 事業所向けの健康情報 等のメール配信 啓発リーフレットの配付 事業所向け講習会	柏労働基準監 督署 柏労働基準協 会 柏商工会議所 柏市沼南商工 会 代表企業(2社) 東葛北部地域 産業保健セン ター 全国健康保険 協会千葉支部 柏市医師会 柏歯科医師会	①健康づくりに 取り組む事業所 (3社) ②なし	働く世代の生活 習慣病予防とこ ころの健康づく りの推進  社員の健康づく りに積極的に取 り組む事業所の 増加							メール配信登録事業所数	元年度は年間11回のメール配信を行 う中で、運動や運動関連イベントの情 報を配信。健康づくりに取り組む事業 所紹介は3社実施。引き続きメール配 信の周知を行う。 食生活、運動、こころの健康、禁煙、 歯・口腔の健康、健(検)診や各種相談 窓口の情報をまとめたリーフレットを作 成し、事業所等に配付。保健所だより も活用した。 年2回の会議の中で、地域と職域の活 動について確認・共有を実施した。 柏労働基準監督署と保健所の連名で 「健康経営」をテーマにした講習会を実 施。 今年度は、健康増進に関するリーフ レットを作成し、配布する。	働く世代の健康づくり、 職場での健康づくりの 推進につながる配信内 容、啓発方法の検討を 実施								
												H27			H28	H29	H30	R元				
																13社	27社	36社	47社	60社		
学校教 育部 児童生 徒課	不登校児童 生徒の支援 事業	市内の小中学校で、何ら かの要因による不登校状 態の児童生徒を対象に 行う支援事業。本人の自 立を促すとともに、学校 復帰を目指すため、学習 支援や訪問活動を行って いる。	-	①民間の学習塾 (ただし、長期休 業短縮に伴い、 実施については 未定)	不登校児童生徒 の減少							適応指導教室学習相談室入室入級者数	成果としては、入級入室者数が増え、 多くの児童生徒が利用することができ た。学校復帰や部分復帰、進学につな げることもできた。また、教育相談も電 話、来室・訪問ともに件数が増え、よ り多くの保護者の要望に応じたり、対 応したりすることができた。 課題としては、利用者が増加すること で施設や設備、消耗品などの不足が 見られた。また、学校と保護者や学校 と学習相談室等の連携が取れない ケースもあった。 今年度の取組としては、学校から学習 相談室への訪問や学習課題等の連絡 を密に行い、学校と保護者、学習相談 室の連携を図る。	不登校児童生徒の人 数が増加していること と、学校以外の場所 での学習活動が周知さ れていること、年度末 から休校が続いたこと などから、学習相談 室や教育支援センター の利用者数も増加する ことが見込まれる。学 校と連携を深めなが ら、児童生徒の学習 の機会を確保してい く。								
																		H27	H28	H29	H30	R元
																70人	63人	75人	81人	84人		
												教育相談件数(電話)										
												2,616件	2,944件	2,673件	2,785件	3,248件						
												教育相談件数(来室・訪問等)										
												790件	881件	605件	856件	1,273件						
												教育相談件数(家庭訪問)										
												987件	781件	802件	574件	589件						

#### 4. 喫煙

(1)喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する知識の普及														
①喫煙率の減少														
②喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する認識をもつ成人の割合の増加														
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
保健所 健康増 進課	タバコ対策	柏ノースモッ子作戦協 議会 柏ノースモッ子作戦出 張講座 乳幼児保護者向けリー フレット作成  ※禁煙補助剤体験事 業(H29年度終了)	柏市医師会 柏歯科医師会 柏市薬剤師会 タバコ問題を考え る会・千葉 柏商工会議所 柏市私立幼稚園 協会 柏市PTA連絡協 議会 柏市民健康づくり 推進員連絡協 議会 柏市民生委員 児童委員協 議会 柏市小中学校校 長会 柏市小中学校養 護教諭会 地域保健課 保育運営課 環境サービス課 学校保健課 少年補導センター	①なし ②なし	禁煙をする市民 が増える 喫煙する市民が 減る 学校の周囲で 喫煙する大人が 減る タバコの害や受 動喫煙について 正しい認識を持 つ市民の増加	○	○	○	○	○	○	禁煙補助剤体験者数 H27 H28 H29 H30 R元 115人 119人 44人 - - 出張講座実施校数 16校 14校 11校 12校 16校	柏ノースモッ子作戦協議会を年2回実 施し、相互連携や情報共有をはかっ た。 柏ノースモッ子作戦出張講座につい ては、平成30年度に市立小中学校を対 象とした調査で、出張講座を実施して いない学校でも『薬物乱用防止教室』と してたばこに関する教育が行われてい ることを確認した。 このため、令和元年度からは「子どもた ちに携わる大人たち」にも出張講座の 対象者の枠を広げ、保護者会や研修 会等でも活用してもらえるよう事業の拡 大を図った。 乳幼児保護者向けリーフレットについ ては、幼稚園・保育園児に加えて小学校 2年生にも対象者を広げ配布し、啓発 の強化を図った。 令和2年度については、3年に1回の全 数調査を行い、子どもたちのたばこに 対する興味やたばこ経験率等の経年 的な変化を把握したり、これまでの取り 組みの成果を検証し、今後のたばこ対 策事業の検討材料としていく。 また、協議会、出張講座およびリー フレットの配布についても引き続き実施を していく。	子どもたちをたばこから 守るための取組を強化 し、健康への影響を広く 市民に周知啓発するこ と、並びに協議会メン バーの団結力を高める ことを目的に柏ノース モッ子作戦10周年記念 イベントを実施する。 引き続き年2回の協議 会を開催し、相互連携お よび情報共有をはかる。
						○	○	○	○	○	○	健康教育・啓発実施者数(全数) H27 H28 H29 H30 R元 - 2,298人 2,169人 758人 651人 妊娠届出時の周知 - - - 1,161人 1,096人		
保健所 地域保 健課	啓発事業 (* )	地域サロン等を中心と した健康教育や各イベ ントの中で運動、食、タバ コ等健康に関する啓発 および地域支援を実 施。一般市民を対象と し、幅広いテーマにつ いての啓発を行う。  妊娠届出時に妊婦と家 族に対して個別に周知 を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり 推進員 各種団体及び企 業関係	①なし ②なし	幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に関 する気づきの場 を作る。	○	○	○	○	○	○	ホームページやチラシ等を用いて周知 し、地域サロンを中心とした依頼の健 康教育を実施した。 啓発ワーキングと連携し、健康に関 する内容を付加し実施していく。 当課事業で関わる市民に対し、喫煙や 受動喫煙が及ぼす健康影響に関して 啓発していく。	引き続き、啓発ワー キングと連携した健康教育を 実施し、地域活動を行っ ていく。	

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性									
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期												
保健所 健康増 進課	健康づくり 普及啓発事 業 (※)	イベント等の中で運動、 食、タバコ等健康に関す る啓発を実施。一般市 民を対象とし、幅広い テーマについての啓発 を行う。	庁内関係各課  各種団体及び企 業関係	①モラージュ柏 第一生命 ②なし	幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に関 する気づきの場を 作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)	令和元年度は各種イベントにて幅広い 内容の健康啓発を実施したため、H27 年に次いで多くの市民に健康情報を発 信することができた。 また、「第一生命」との協定により、第 一生命の顧客へ毎月市で作成した「か しわ健康メッセージ」を配付したり、「モ ラージュ柏」で発行している「モラージュ ママ」を通じて健康情報を定期的に 発信することができた。 令和2年度は、引き続き「第一生命」お よび「モラージュ柏」と連携し、健康情報 を広く周知、啓発していく予定。また、地 域職域と連携し、一般企業等への健康 に関する啓発物品(タールモデル等)の 貸し出しを開始する。	健康増進計画の目標値 達成に近づける内容の 啓発を行っていく。									
												H27			H28	H29	H30	R元					
												5,235人			4,869人	1,872人	2,657人	4,973人					
												※H29年度～ 柏市民健康づくり推進員活動については別掲											
												啓発実施者数(喫煙)											
												50人			900人	1,450人	1,047人	2,224人					
												※H29年度～ 柏市民健康づくり推進員活動については別掲											
												依頼の健康教育参加者数(講師:保健師)											
						-	-	-	95人	38人													
						※H30年度～健康増進課として計上																	
保健所 健康増 進課	地域・職域 連携推進事 業	柏地域・職域連携推進 協議会 事業所向けの健康情報 等のメール配信 啓発リーフレットの配付 事業所向け講習会	柏労働基準監督 署 柏労働基準協会 柏商工会議所 柏市沼南商工会 代表企業(2社) 東葛北部地域産 業保健センター 全国健康保険協 会千葉支部 柏市医師会 柏歯科医師会	①健康づくりに 取り組む事業所 (3社) ②なし	働く世代の生活 習慣病予防とこ ころの健康づく りの推進  社員の健康づく りに積極的に取 り組む事業所の 増加							メール配信登録事業所数	元年度は年間11回のメール配信を行う 中で、運動や運動関連イベントの情報 を配信。健康づくりに取り組む事業所 紹介は3社実施。引き続きメール配信 の周知を行う。 食生活、運動、こころの健康、禁煙、 歯・口腔の健康、健(検)診や各種相談 窓口の情報をまとめたリーフレットを作 成し、事業所等に配付。保健所だよりも 活用した。 年2回の会議の中で、地域と職域の活 動について確認・共有を実施した。 柏労働基準監督署と保健所の連名で 「健康経営」をテーマにした講習会を実 施。 今年度は、健康増進に関するリーフ レットを作成し、配布する。	働く世代の健康づくり、 職場での健康づくりの推 進につながる配信内 容、啓発方法の検討を 実施									
																		H27	H28	H29	H30	R元	
												13社			27社	36社	47社	60社					
												講習会参加事業所数											
												8社			15社	29社	52社	43社					

(2)受動喫煙の防止														
③受動喫煙の機会を有する人の割合の減少														
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
保健所 健康増 進課	タバコ対策 (※) 受動喫煙対 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康増進法に基づく指 導等及び同法の周知啓 発</li> <li>柏ノースモツ子作戦協 議会</li> <li>柏ノースモツ子作戦出 張講座</li> <li>禁煙・分煙ありがとう 店登録店制度</li> <li>乳幼児保護者向け リーフレットの作成、配 布</li> <li>「たばこの煙困りまし たカード」の設置</li> <li>受動喫煙防止キャン ペーン</li> </ul>	柏市医師会 柏歯科医師会 柏市薬剤師会 タバコ問題を考える会・千葉 柏商工会議所 柏市私立幼稚園 協会 柏市PTA連絡協 議会 柏市民健康づくり 推進員連絡協議 会 柏市民生委員児 童委員協議会 柏市小中学校校 長会 柏市小中学校養 護教諭会 地域保健課 保育運営課 環境サービス課 学校保健課 少年補導センター 千葉県	①なし ②なし	受動喫煙による 健康被害の減 少	○	○	○	○	○	○	禁煙分煙ありがとう店登録店 H27 H28 H29 H30 R元 93店 64店 65店 51店 50店	禁煙・分煙ありがとう店登録店数は減 少している(H30年までは、登録確認を 書面でおこなっており、連絡が取れない 店舗は自動的に登録を削除してい た)。 令和2年4月から健康増進法が全面施 行され、飲食店等を含む多くの施設が 禁煙になるので、営業者として受動喫 煙に関する関心は高く、登録せずとも 自主的に受動喫煙対策を行っている店 舗もある。また、同法律に関する問合 せ・届出も多い。  令和2年度は、同法律の周知を徹底 し、市内の飲食店・事業所等での受動 喫煙防止の徹底を目指し、禁煙である 旨をPRし、店内の禁煙を実施する飲食 店等の支援をするような事業を検討す る。  受動喫煙防止キャンペーンとして、調 理師会と連携し、受動喫煙啓発用カイ ロ(約1,000個)をがん検診・特定健診会 場での配布を行った。 また、結核肺がん検診会場やイベント 等で啓発用うちわ(800枚)を配布。	望まない受動喫煙防止 を目的とした健康増進 法の改正に伴い、屋内 は原則禁煙となる。喫煙 できる場所を設置する 場合の設置基準等が示 されており、適正な運用 ができていない施設に は指導等を行う。 また、屋外や住居での 喫煙は法の適用外では あるが、法に定められた 配慮義務を周知してい くことで、望まない受動喫 煙を減少させていく。
						○	○	○	○	○	○	依頼の健康教育実施者数(全数) H27 H28 H29 H30 R元 - 2,298人 2,169人 758人 651人  幼児健診での周知 - - - 2,255人 2,049人		
保健所 地域保 健課	啓発事業 (*)	地域サロン等を中心と した健康教育や各イベ ントの中で運動、食、タバ コ等健康に関する啓発 および地域支援を実 施。一般市民を対象と し、幅広いテーマにつ いての啓発を行う。  幼児健診にて保護者に 対し、個別に周知を行 う。	庁内関係各課  柏市民健康づくり 推進員  各種団体及び企 業関係	①なし ②なし	幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションア プ ローチをす ること で、健康に関 する気づきの場 を作る。	○	○	○	○	○	○	依頼の健康教育実施者数(全数) H27 H28 H29 H30 R元 - 2,298人 2,169人 758人 651人  幼児健診での周知 - - - 2,255人 2,049人	・ホームページやチラシ等を用いて周 知し、地域サロンを中心とした依頼の 健康教育を実施した。 ・啓発ワーキングと連携し、健康に関す る内容を付加し実施していく。 ・当課事業で関わる市民に対し、喫煙 や受動喫煙が及ぼす健康影響に関し て啓発していく。	引き続き、啓発ワーキン グと連携した健康教育を 実施し、地域活動を行っ ていく。



所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性					
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 健康増 進課	健康づくり 普及啓発事 業 (* )	イベント、健康教育の中 で運動、食、タバコ等健 康に関する啓発を実 施。一般市民を対象と し、幅広いテーマについ ての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企 業関係	①モラージュ柏 第一生命 ②なし	幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションアプ ローチをするこ とで、健康に関す る気づきの場を 作る。							啓発実施者数(全数)	令和元年度は各種イベントにて幅広い 内容の健康啓発を実施したため、H27 年に次いで多くの市民に健康情報を発 信することができた。 また、「第一生命」との協定により、第 一生命の顧客へ毎月市で作成した「か しわ健康メッセージ」を配付したり、「モ ラージュ柏」で発行している「モラージュ ママ」を通じて健康情報を定期的に 発信することができた。 令和2年度は、引き続き「第一生命」お よび「モラージュ柏」と連携し、健康情 報を広く周知、啓発していく予定。また、地 域職域と連携し、一般企業等への健康 に関する啓発物品(タールモデル等)の 貸し出しを開始する。	健康増進計画の目標値 達成に近づける内容の 啓発を行っていく。					
												H27			H28	H29	H30	R元	
												5,235人			4,869人	1,872人	2,657人	4,973人	
												※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活 動を含む							
												啓発実施者数(喫煙)							
												50人			900人	1,450人	1,047人	2,224人	
												※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活 動を含む							
						依頼の健康教育参加者数(講師:保健師)													
						-	-	-	95人	38人									
						※H30年度～健康増進課として計上													
保健所 健康増 進課	地域・職域 連携推進事 業	柏地域・職域連携推進 協議会 事業所向けの健康情報 等のメール配信 啓発リーフレットの配付 事業所向け講習会	柏労働基準監督 署 柏労働基準協会 柏商工会議所 柏市沼南商工会 代表企業(2社) 東葛北部地域産 業保健センター 全国健康保険協 会千葉支部 柏市医師会 柏歯科医師会	①健康づくりに 取り組む事業所 (3社) ②なし	働く世代の生活 習慣病予防とこ ころの健康づく りの推進  社員の健康づく りに積極的に取 り組む事業所の 増加							メール配信登録事業所数	元年度は年間11回のメール配信を行う 中で、運動や運動関連イベントの情報 を配信。健康づくりに取り組む事業所 紹介は3社実施。引き続きメール配信 の周知を行う。 食生活、運動、こころの健康、禁煙、 歯・口腔の健康、健(検)診や各種相談 窓口の情報をまとめたリーフレットを作 成し、事業所等に配付。保健所だよりも 活用した。 年2回の会議の中で、地域と職域の活 動について確認・共有を実施した。 柏労働基準監督署と保健所の連名で 「健康経営」をテーマにした講習会を実 施。 今年度は、健康増進に関するリーフ レットを作成し、配布する。	働く世代の健康づくり、 職場での健康づくりの推 進につながる配信内 容、啓発方法の検討を 実施					
												H27			H28	H29	H30	R元	
												13社			27社	36社	47社	60社	
												講習会参加事業所数							
												8社			15社	29社	52社	43社	
環境部 環境 サービ ス課	ぼい捨て等 防止事業	啓発看板・路面シール・ 横断幕の設置等の啓 発を行い、路上喫煙等 防止を推進し、ぼい捨 てごみを減少させる。	防災安全課	①なし ②なし	ぼい捨てごみ、 路上喫煙・歩行 喫煙者の減少。							過料徴収件数	平成30年度よりシルバー人材センター からパトロール補助員を雇用。パトロー ル班が2班になった結果、2年続けて過 料徴収件数が増加した。 栃木県さくら市による行政視察に対応 し、柏市における路上喫煙対策につい て紹介した。 今後は、健康増進法改正やオリン ピック開催に伴う、たばこ及び電子たば この取り扱いについて、国や他市の動 向に注視しながら業務を行っていく。	市内各駅周辺における ぼい捨てごみ減少とそ の啓発に係る経費削 減。 効果的な啓発及びパト ロールの継続。					
												H27			H28	H29	H30	R元	
												275件			155件	108件	294件	373件	



(3) 禁煙の支援																		
④ 禁煙達成率																		
⑤ 成人の禁煙外来における保険適用に関する認知率																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
保健所 健康増 進課	タバコ対策 (※)	・禁煙外来実施医療機 関の周知 ・柏市国保特定健診受 診者へ啓発 ・禁煙支援薬局登録店 の周知	柏市医師会 保険年金課 柏市薬剤師会	①なし ②なし	・禁煙する市民 が増える  ・身近な医療機 関で保険による 禁煙指導が受 けられることを 知ることができる							禁煙支援薬局登録店					禁煙外来及び禁煙支援薬局について はHPで公開するとともに、禁煙支援 マップを作成し周知啓発を図っている。 禁煙支援薬局は、禁煙外来に受診する 前に、気軽に相談できる場として、平成 28年より薬剤師会を通じた登録制とし て実施している。 柏市国保特定健診受診者に配布する 情報提供紙「かしわ健康づくり通信」に は市内禁煙外来一覧を掲載。また、令 和元年度は依頼の健康教育でも喫煙 者を対象に禁煙支援マップの配布を行 い、興味を持ってもらうことができた。 令和2年度も継続し、引き続き周知を 行う。	禁煙を希望している喫 煙者がスムーズに禁煙 できるような支援及び環 境整備を継続して実施 していく。
												H27	H28	H29	H30	R元		
												-	25件	34件	33件	25件		
						市内禁煙外来実施医療機関数												

(4) 未成年者の喫煙防止																		
⑥ 喫煙経験率																		
⑦ 喫煙願望率																		
⑧ 周囲で喫煙する大人の存在率																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
保健所 健康増 進課	タバコ対策 (※)	・柏ノースモツ子作戦出張講座実施 ・柏ノースモツ子新聞発行 ・小中学校タバコに関するアンケート ・乳幼児保護者向けリーフレットの作成、配布	・柏市薬剤師会 ・タバコ問題を考える会・千葉 ・市立小中学校 ・柏市私立幼稚園協会 ・学校保健課 ・保育運営課 ・地域保健課	①なし ②なし	・小中学生の喫煙経験率が減る ・小中学生の「タバコがかっこいいと思う」割合が減る ・タバコの害について正しく知ることができる ・タバコの害について正しく知る大人が増える ・禁煙する大人が増える	○	○	○	○	○	○	出張講座実施校数					令和元年度からは「子どもたちに携わる大人たち」にも出張講座の対象者の枠を広げ、保護者会や研修会等でも活用してもらえるよう事業の拡大を図った。 小4～中3向けの柏ノースモツ子新聞については、カラー版の全数配付を実施したところ、反響もよく周知拡大につながったため、引き続き令和2年度も小中学校へ配付を予定している。 令和2年度については、3年に1回の全数調査(小6, 中3, 高3)を行い、子どもたちのたばこに関する興味やたばこ経験率等の経年的な変化を把握したり、これまでの取組の成果を検証し、今後のたばこ対策事業の検討材料としていく。 乳幼児保護者向けリーフレットについては、幼稚園・保育園児に加えて小学校2年生にも対象者を広げ配付し、啓発の強化を図った。また、妊娠届出時を利用し、本人・同居家族に喫煙者がいる際に啓発チラシを渡すよう地域保健課と連携を図っている。	引き続き、子どもたちの喫煙経験率及び願望率を下げよう、協議会で連携をしながら事業内容の充実を図っていく。
												H27	H28	H29	H30	R元		
												16校	14校	11校	12校	16校		
												周囲で喫煙する大人の存在率(小学6年生)						
												-	-	62.8%	-	-		
												周囲で喫煙する大人の存在率(中学3年生)						
-	-	58.1%	-	-														
※市内全校アンケート(追跡調査につき3年に1度の実施)結果																		
保健所 健康増 進課	健康づくり 普及啓発事業 (*)	イベント、健康教育等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	①モラージュ柏 第一生命 ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)					令和元年度は各種イベントにて幅広い内容の健康啓発を実施したため、H27年に次いで多くの市民に健康情報を発信することができた。 また、「第一生命」との協定により、第一生命の顧客へ毎月市で作成した「かしわ健康メッセージ」を配付したり、「モラージュ柏」で発行している「モラージュママ」を通じて健康情報を定期的に発信することができた。 令和2年度は、引き続き「第一生命」および「モラージュ柏」と連携し、健康情報を広く周知、啓発していく予定。また、地域職域と連携し、一般企業等への健康に関する啓発物品(タールモデル等)の貸し出しを開始する。	健康増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を行っていく。
												H27	H28	H29	H30	R元		
												5,235人	4,869人	1,872人	2,657人	4,973人		
												※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む						
												啓発実施者数(喫煙)						
												50人	900人	1,450人	1,047人	2,224人		
※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む																		
依頼の健康教育参加者数(保健師)																		
-	-	-	95人	38人														
※H30年度～健康増進課として計上																		

5. 飲酒

(1) 過度の飲酒が及ぼす健康影響及び適度な飲酒に関する知識の普及																			
①「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」の認識率の増加																			
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性					
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 地域保健課	啓発事業 (*)	地域サロン等を中心とした健康教育や各イベントの中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発および地域支援を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	①なし ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							健康教育・啓発実施者数(全数)	ホームページやチラシ等を用いて周知し、地域サロンを中心とした依頼の健康教育を実施した。 啓発ワーキングと連携し、健康に関する内容を付加し実施していく。 当課事業で関わる市民に対し、飲酒が及ぼす健康影響に関して啓発していく。	引き続き、啓発ワーキングと連携した健康教育を実施し、地域活動を行っていく。					
						H27	H28	H29	H30	R元	-	2,298人			2,169人	758人	651人		
保健所 健康増進課	健康づくり普及啓発事業 (※)	イベント、健康教育等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	①なし ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							啓発実施者数(全数)	令和元年度は各種イベントにて幅広い内容の健康啓発を実施したため、H27年に次いで多くの市民に健康情報を発信することができた。 また、「第一生命」との協定により、第一生命の顧客へ毎月市で作成した「かしわ健康メッセージ」を配布したり、「モーラージュ柏」で発行している「モーラージュママ」を通じて健康情報を定期的に発行することができた。 令和2年度は、引き続き「第一生命」および「モーラージュ柏」と連携し、健康情報を広く周知、啓発していく予定。また、地域職域と連携し、一般企業等への健康に関する啓発物品(タールモデル等)の貸し出しを開始する。	健康増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を行っていく。					
						H27	H28	H29	H30	R元	5,235人	4,869人			1,872人	2,657人	4,973人		
						※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む						啓発実施者数(飲酒)							
						H27	H28	H29	H30	R元	580人	1,200人			800人	-	400人		
						※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む						依頼の健康教育参加者数(講師・保健師)							
						H27	H28	H29	H30	R元	-	-			-	95人	38人		
						※H30年度～健康増進課として計上													
保健所 健康増進課	地域・職域連携推進事業	柏地域・職域連携推進協議会 事業所向けの健康情報等のメール配信 啓発リーフレットの配付 事業所向け講習会	柏労働基準監督署 柏労働基準協会 柏商工会議所 柏市沼南商工会 代表企業(2社) 東葛北部地域産業保健センター 全国健康保険協会千葉支部 柏市医師会 柏歯科医師会	①健康づくりに取り組む事業所(3社) ②なし	働く世代の生活習慣病予防とこころの健康づくりの推進  社員の健康づくりに積極的に取り組む事業所の増加							メール配信登録事業所数	元年度は年間11回のメール配信を行う中で、運動や運動関連イベントの情報を配信。健康づくりに取り組む事業所紹介は3社実施。引き続きメール配信の周知を行う。 食生活、運動、こころの健康、禁煙、歯・口腔の健康、健(検)診や各種相談窓口の情報をまとめたリーフレットを作成し、事業所等に配付。保健所だよりも活用した。 年2回の会議の中で、地域と職域の活動について確認・共有を実施した。 柏労働基準監督署と保健所の連名で「健康経営」をテーマにした講習会を実施。 今年度は、健康増進に関するリーフレットを作成し、配布する。	働く世代の健康づくり、職場での健康づくりの推進につながる配信内容、啓発方法の検討を実施					
						H27	H28	H29	H30	R元	13社	27社			36社	47社	60社		
						講習会参加事業所数													
						H27	H28	H29	H30	R元	8社	15社			29社	52社	43社		



(2)健康被害のリスクを高める飲酒習慣の防止																								
②毎日飲酒・多量飲酒する人の割合の減少																								
③妊婦の飲酒率の減少																								
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果, 今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性										
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期													
保健所 保健予 防課	本人・家族 の相談・訪 問支援等 (※)	<p>〈アルコール相談〉 精神科医師や職員によるアルコールに関する相談。</p> <p>〈アルコール家族教室〉 アルコール問題を抱える家族を対象に、講義やミーティングをとおして依存症の理解を図り、家族の健康度を高める。</p> <p>〈酒害教室〉 アルコール依存者や家族を対象に、ミーティングを通して、酒害や自助グループの効果を学び、アルコール依存からの回復を図る。</p> <p>〈HAPPYプログラム〉 アルコール減酒のためのプログラムを実施し、適正飲酒を目指す。</p>	柏断酒新生会	①なし ②なし	より多くの市民がアルコール依存症や関連問題について学習し、依存症や家族の回復を図ることができる。							アルコール相談 精神科医による相談延数	<p>アルコール関連の問題は、本人だけでなく周囲への影響も大きく、早めの介入することが望ましい。特定健診等でアルコールによる健康障害の情報提供やAUDIT(飲酒習慣スクリーニング)を実施した。職員による相談や出前講座を通して、酒害についてや自助グループの効果等を広く伝え、必要な方が相談や教室等につながるよう、周知した。アルコール問題早期介入として、減酒プログラム「HAPPYプログラム」を実施。令和元年度は日曜開催し、市民の利便性良い会場で実施。自衛隊を対象に「HAPPYプログラム」を実施。医療機関との連携した開催を検討中。</p>	アルコール関連事業を継続しつつより効果的な事業を検討する										
												H27			H28	H29	H30	R元						
												11件			12件	12件	14件	15件						
																			アルコール相談 職員による面談や訪問延数					
																			184件	228件	191件	135件	112件	
																							アルコール家族教室 参加者延数	
																				81人	79人	110人	69人	78人
																								酒害教室参加者延数
												246人	181人	200人	183人	167人								
																	HAPPYプログラム(減酒プログラム) 参加者延数							
												9人	33人	27人	31人	23人								



(3) 未成年者の飲酒防止

④ 未成年者の飲酒経験率の減少

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					令和元年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性		
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H27	H28	H29	H30	R元				
保健所 健康増進課	健康づくり普及啓発事業 (※)	イベント、健康教育等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	①なし ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							啓発実施者数(全数)					令和元年度は各種イベントにて幅広い内容の健康啓発を実施したため、H27年に次いで多くの市民に健康情報を発信することができた。また、「第一生命」との協定により、第一生命の顧客へ毎月市で作成した「かしわ健康メッセージ」を配付したり、「モラージュ柏」で発行している「モラージュママ」を通じても健康情報を定期的に発信することができた。令和2年度は、引き続き「第一生命」および「モラージュ柏」と連携し、健康情報を広く周知、啓発していく予定。また、地域職域と連携し、一般企業等への健康に関する啓発物品(タールモデル等)の貸し出しを開始する。	健康増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を行っていく。		
												H27	H28	H29	H30	R元				
												5,235人	4,869人	1,872人	2,657人	4,973人				
												※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む								
												啓発実施者数(飲酒)								
												580人	1,200人	800人	-	400人				
												※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む								
												依頼の健康教育参加者数(講師:保健師)								
											H27	H28	H29	H30	R元					
											-	-	-	95人	38人					
						※H30年度～健康増進課として計上														

## 6. 歯・口腔の健康

(1) 歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及																																										
① 3歳児でむし歯がない人の割合の増加																																										
② 12歳児のDMF歯数の減少																																										
③ 歯肉炎を有する(歯周疾患要観察者を含む)人の割合の減少																																										
④ 40歳で喪失歯のない人の割合の増加																																										
⑤ 進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人の割合の減少																																										
⑥ 60歳代における咀嚼し良好者の割合の増加																																										
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性																												
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																															
保健所 地域保 健課	子育て支援 事業 (母と子のつ どい、8か月 児相談)	<p>&lt;母と子のつどい&gt; 妊婦、1歳6か月児くらい までの乳幼児と保護者を 対象に、市内20地域で実 施</p> <p>&lt;8か月児相談&gt; 8か月児の乳児へ個別案 内にて実施。各専門職が グループワークや個別相 談を行う。</p> <p>内容：歯・口腔に関する ワンポイント啓発、歯科 相談</p>	<p>&lt;母と子のつ どい&gt; 柏市民健康づ くり推進員</p>	<p>①なし ②なし</p>	<p>・甘味食品や飲 料を習慣化する 児の割合の減 少 ・歯みがき(仕上 みがき)の習慣 化 ・かかりつけ歯 科医を持っている 割合の増加</p>	○				△	<p>つどい参加者数(歯科の回のみ)</p> <table border="1"> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> </tr> <tr> <td>6,600人</td> <td>5,762人</td> <td>5,473人</td> <td>213人</td> <td>86人</td> </tr> </table> <p>8か月児相談参加者数</p> <table border="1"> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2,231人</td> <td>2,085人</td> </tr> </table> <p>※H30より、母と子のつどいの実施主体が柏 市民健康づくり推進員となり歯・口腔の健康に ついては、地域からの依頼に応じて対応。</p>	H27	H28	H29	H30	R元	6,600人	5,762人	5,473人	213人	86人	H27	H28	H29	H30	R元	-	-	-	2,231人	2,085人	<p>H30年度より、8か月児相談事業を個 別通知にて実施。令和元年度65.6% の参加があり、口腔ケアに関する講 話、歯科相談を実施し好評であった。 1歳6か月児健診や3歳児健康診査 において、かかりつけ歯科があるも の割合が低い。引き続き、乳児と 保護者の口腔ケアと合わせてかかり つけ歯科の推進について啓発する</p>	<p>乳幼児期から、家族 ぐるみで口腔の健康 に意識が持てるよう、 情報提供する。</p>									
												H27	H28	H29	H30	R元																										
6,600人	5,762人	5,473人	213人	86人																																						
H27	H28	H29	H30	R元																																						
-	-	-	2,231人	2,085人																																						
保健所 地域保 健課	2歳の歯☆ ピカランド及 びフッ化物歯 面塗布事業	<p>&lt;歯☆ピカ&gt; 2歳児の親子を対象に食 生活を含むむし歯予防 の啓発及び歯みがき指 導</p> <p>&lt;フッ化物&gt; 2.6歳対象に医療機関に てフッ化物歯面塗布によ るむし歯予防事業(無料 受診券全対象者郵送)</p>	<p>柏歯科医師 会 柏市医師会</p>	<p>①なし ②なし</p>	<p>・フッ化物配合 歯みがき剤の利 用率の増加 ・かかりつけ歯 科医を持つ者の 増加 ・定期健診を受 ける者の増加</p>	○				△	<p>3歳児健診受診状況</p> <table border="1"> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> </tr> <tr> <td>3,566人</td> <td>3,674人</td> <td>3,535人</td> <td>3,851人</td> <td>3,743人</td> </tr> </table> <p>対象者数</p> <table border="1"> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> </tr> <tr> <td>3,231人</td> <td>3,313人</td> <td>3,221人</td> <td>3,453人</td> <td>3,325人</td> </tr> </table> <p>歯科受診者数</p> <table border="1"> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> </tr> <tr> <td>80.5%</td> <td>83.7%</td> <td>85.4%</td> <td>86.9%</td> <td>88.2%</td> </tr> </table> <p>健歯者率</p> <p>歯☆ピカランドの教室案内について 受診しやすい環境整備の一環とし て、周知時期を早め2か月分の教室 案内をしたが、受診率増加にはつな がらなかった。今年度はさらに、2歳 児の保護者へ伝えたい啓発内容を 加えた。 歯☆ピカランド受診率38.8%でやや 減少、フッ化物歯面塗布事業受診率 44.3%で横ばいである。引き続き、受 診率増加につながるよう周知方法や 啓発内容について検討していく。 3歳児健診における健歯者率の増加 が見られている。フッ化物配合歯 みがき剤の利用者が90.4%とほとん どの方が利用していた。かかりつけ 歯科の有無については、有の方が61% であり昨年度より増加傾向ではある が引き続き推進していく。</p>	H27	H28	H29	H30	R元	3,566人	3,674人	3,535人	3,851人	3,743人	H27	H28	H29	H30	R元	3,231人	3,313人	3,221人	3,453人	3,325人	H27	H28	H29	H30	R元	80.5%	83.7%	85.4%	86.9%	88.2%	<p>引き続き切れ目のな い歯・口腔の健康づ くり支援を行い情報提 供する。</p>
H27	H28	H29	H30	R元																																						
3,566人	3,674人	3,535人	3,851人	3,743人																																						
H27	H28	H29	H30	R元																																						
3,231人	3,313人	3,221人	3,453人	3,325人																																						
H27	H28	H29	H30	R元																																						
80.5%	83.7%	85.4%	86.9%	88.2%																																						

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性																										
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																													
保健所 地域保 健課	母子歯科保 健事業「歯っ ぴいかムカム かしわっ子 作戦！！」	<p>&lt;地域における依頼の 健康教育&gt; 子育て支援センター、地 域サロンにおいて、「育 児講座」として地域の乳 幼児をもつ保護者を対象 にむし歯予防の啓発及 び歯みがき指導 &lt;幼稚園・保育園等での 歯みがき指導&gt; 保育園、幼稚園の園児を 対象に食生活を含むむし 歯予防の啓発及び歯み がき指導 依頼に応じて、保護者へ もむし歯予防の啓発を実 施</p>	<p>保育運営課 公立保育園 私立保育園 私立幼稚園 柏歯科医師 会</p>	<p>①なし ②なし</p>	<p>・歯みがき(仕上 みがき)の習慣 化 ・かかりつけ歯 科医を持つ者の 増加 ・定期健診を受 ける者の増加</p>	○						<p>△</p>	<p>依頼の健康教育(母子)実施件数</p> <table border="1"> <tr> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R元</td> </tr> <tr> <td>6件</td> <td>9件</td> <td>5件</td> <td>4件</td> <td>0件</td> </tr> </table> <p>実施者数</p> <table border="1"> <tr> <td>137人</td> <td>260人</td> <td>97人</td> <td>124人</td> <td>0人</td> </tr> </table> <p>巡回歯みがき指導実施園数</p> <table border="1"> <tr> <td>37園</td> <td>40園</td> <td>41園</td> <td>47園</td> <td>30園</td> </tr> </table> <p>巡回歯みがき指導実施者数</p> <table border="1"> <tr> <td>3,062人</td> <td>2,822人</td> <td>2,553人</td> <td>2,696人</td> <td>1,573人</td> </tr> </table>	H27	H28	H29	H30	R元	6件	9件	5件	4件	0件	137人	260人	97人	124人	0人	37園	40園	41園	47園	30園	3,062人	2,822人	2,553人	2,696人	1,573人	<p>令和元年度については、事業整理し ターゲットを年中・年長とし、新規園を 優先とした、30園限定とし実施した。8 園ほどお断りした園もあり、指導マニ ユアルで対応いただいた。 保育運営課と連携し、指導者育成の研 修会を開催した。今後も、定期的に指 導者講習を実施し園で取り組めるよう 支援する。</p>	<p>市内の園児へ広く情 報提供が出来るよう にする 引き続き、依頼の健 康教育を実施しつ つ、指導者育成のた めの取り組みも行う。</p>
		H27	H28	H29	H30	R元																																		
6件	9件	5件	4件	0件																																				
137人	260人	97人	124人	0人																																				
37園	40園	41園	47園	30園																																				
3,062人	2,822人	2,553人	2,696人	1,573人																																				
		<p>小学校、中学校の児童、 生徒を対象に食生活を 含むむし歯、歯周病予防 の啓発及び歯みがき指 導 依頼に応じて、保護者へ もむし歯、歯周病予防の 啓発を実施</p>	<p>学校保健課 小学校 中学校 柏歯科医師 会</p>	<p>①なし ②なし</p>	<p>・給食後の歯み がき習慣の徹底 ・食後の歯みが き習慣の徹底 ・フッ化物配合 歯みがき剤の利 用率の増加 ・定期健診を受 ける者の増加</p>	○						<p>△</p>	<p>実施校数(他学年の依頼校)</p> <table border="1"> <tr> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R元</td> </tr> <tr> <td>31校</td> <td>31校</td> <td>31校</td> <td>32校</td> <td>26校</td> </tr> </table> <p>他学年依頼の健康教育実施者数</p> <table border="1"> <tr> <td>3,116人</td> <td>2,619人</td> <td>2,774人</td> <td>2,917人</td> <td>2,209人</td> </tr> </table> <p>12歳児の健歯者率</p> <table border="1"> <tr> <td>61.9%</td> <td>59.4%</td> <td>65.8%</td> <td>64.1%</td> <td>66.1%</td> </tr> </table> <p>12歳児のDMF歯数</p> <table border="1"> <tr> <td>0.84本</td> <td>0.99本</td> <td>0.71本</td> <td>0.89本</td> <td>0.63本</td> </tr> </table>	H27	H28	H29	H30	R元	31校	31校	31校	32校	26校	3,116人	2,619人	2,774人	2,917人	2,209人	61.9%	59.4%	65.8%	64.1%	66.1%	0.84本	0.99本	0.71本	0.89本	0.63本	<p>毎年、市内全小学校の1年生に対す るむし歯予防啓発を行うことで、学 校・学校歯科医と連携しやすい環境 が整っている。引き続き3者で連携を 図りながら、支援を行っていく。 他学年については、むし歯が増加す る中学年と歯周病予防が必要な高学 年をターゲットとしたことで新たな学 校からの依頼もあった。 6月や11月の啓発月間を利用し、課 題の学年にむけた啓発も行えた。 むし歯の罹患率は減少傾向ではある が歯肉炎の有する者の割合は横ば いであるため、啓発を強化していく。</p>	<p>引き続き、学校、学校 歯科医、児童、生徒、 保護者に対し、保健 所より適切な情報発 信を行い、歯・口腔の 健康づくりの意識が 高められるようにする 課題に合わせ、ター ゲットにむけた啓発を 強化する。</p>
H27	H28	H29	H30	R元																																				
31校	31校	31校	32校	26校																																				
3,116人	2,619人	2,774人	2,917人	2,209人																																				
61.9%	59.4%	65.8%	64.1%	66.1%																																				
0.84本	0.99本	0.71本	0.89本	0.63本																																				
保健所 地域保 健課	啓発事業 (※)	<p>イベント等の中で運動、 食、タバコ、歯・口腔等健 康に関する啓発を実施。 一般市民を対象とし、幅 広いテーマについての啓 発を行う。</p>	<p>庁内関係各 課 柏市民健康つ くり推進員 各種団体及び 企業関係</p>	<p>①なし ②なし</p>	<p>幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に関 する気づきの場を 作る。</p>	○	○	○	○			<p>啓発実施者数(全数)</p> <table border="1"> <tr> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R元</td> </tr> <tr> <td>5,235人</td> <td>4,869人</td> <td>3,979人</td> <td>3,705人</td> <td>3,014人</td> </tr> </table> <p>啓発実施者数(歯・口腔の健康)</p> <table border="1"> <tr> <td>1,801人</td> <td>2,156人</td> <td>952人</td> <td>146人</td> <td>450人</td> </tr> </table>	H27	H28	H29	H30	R元	5,235人	4,869人	3,979人	3,705人	3,014人	1,801人	2,156人	952人	146人	450人	<p>・柏市の各地域における推進員の協 力を得ることにより、一定の周知・啓 発活動を展開することができた。 ・文化祭等の地域のイベントで口腔 に関する講話やあいうべ体操を実施 した。 ・令和2年度は啓発内容の検討を行 う。</p>	<p>引き続き、健康教育 や啓発等を実施し、 地域における健康づ くりを推進する。</p>											
H27	H28	H29	H30	R元																																				
5,235人	4,869人	3,979人	3,705人	3,014人																																				
1,801人	2,156人	952人	146人	450人																																				

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性					
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 健康増進課	健康づくり普及啓発事業 (※)	イベント、健康教育等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	①モラージュ柏 第一生命 ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							啓発実施者数(全数)	令和元年度は各種イベントにて幅広い内容の健康啓発を実施したため、H27年に次いで多くの市民に健康情報を発信することができた。特に、歯科健診推進や口腔ケア等に関するリーフレットを作成し、啓発を実施。また、「第一生命」との協定により、第一生命の顧客へ毎月市で作成した「かしわ健康メッセージ」を配付したり、「モラージュ柏」で発行している「モラージュママ」を通じて健康情報を定期的に発信することができた。令和2年度は、引き続き「第一生命」および「モラージュ柏」と連携し、健康情報を広く周知、啓発していく予定。また、地域職域と連携し、一般企業等への健康に関する啓発物品の貸し出しを開始する。	健康増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を行っていく。					
												H27			H28	H29	H30	R元	
												5,235人			4,869人	1,872人	2,657人	4,973人	
												※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む							
												啓発実施者数(歯・口腔の健康)							
												1,801人	2,156人	350人	515人	944人			
												※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む							
												依頼の健康教育参加者数(講師:歯科衛生士)							
												H27	H28	H29	H30	R元			
												-	-	-	45人	25人			
												※H30年度～健康増進課として計上							
保健所 健康増進課	地域・職域連携推進事業	柏地域・職域連携推進協議会 事業所向けの健康情報等のメール配信 啓発リーフレットの配付 事業所向け講習会	柏労働基準監督署 柏労働基準協会 柏商工会議所 柏市沼南商工会 代表企業(2社) 東葛北部地域産業保健センター 全国健康保険協会千葉支部 柏市医師会	①健康づくりに取り組む事業所(3社) ②なし	働く世代の生活習慣病予防とこころの健康づくりの推進  社員の健康づくりに積極的に取り組む事業所の増加							メール配信登録事業所数	元年度は年間11回のメール配信を行う中で、運動や運動関連イベントの情報を配信。健康づくりに取り組む事業所紹介は3社実施。引き続きメール配信の周知を行う。 食生活、運動、こころの健康、禁煙、歯・口腔の健康、健(検)診や各種相談窓口の情報をまとめたリーフレットを作成し、事業所等に配付。保健所よりも活用した。 年2回の会議の中で、地域と職域の活動について確認・共有を実施した。柏労働基準監督署と保健所の連名で「健康経営」をテーマにした講習会を実施。 今年度は、健康増進に関するリーフレットを作成し、配布する。	働く世代の健康づくり、職場での健康づくりの推進につながる配信内容、啓発方法の検討を実施					
												H27			H28	H29	H30	R元	
												13社			27社	36社	47社	60社	
												講習会参加事業所数							
												8社	15社	29社	52社	43社			
学校教育 部 学校保健課	健康診断事業	<定期歯科健診> 学校医による、全校児童生徒のう歯・歯肉・歯列等の健診  <歯みがき指導> 保健所歯科衛生士による全小学校1年生を対象とした歯みがき指導(学校保健課で日程・人数調整)	学校歯科医 保健所	①なし ②なし	12歳児のDMF 歯数の減少  歯肉炎を有する人の割合の減少							定期歯科健診状況	定期健康診断(歯科検診)を各校で4～6月に実施。その結果を受け、CO(要観察歯)、GO(歯周疾患要観察者)に関して、秋季または冬季に継続検診を実施して保健指導を行った学校もある(17/63校)。 また、全小学校対象の1年生に対する歯みがき指導の他、柏市保健所健康増進課歯科衛生士の指導の下、他学年でも希望により発達段階に応じた指導を実施している学校がある(22/42校)。 学校歯科医による歯科保健の授業や個別指導も行われている(9/63校)。	柏歯科医師会では、学校歯科医マニュアルを第5版まで改訂し、これに基づき、定期健康診断を実施しており、歯科保健教育・歯科保健管理に努めている。学校も養護教諭を中心に学校歯科医・健康増進課と協力し、児童生徒の歯科における健康増進活動を推進できるよう指導体制を整備していく。本年度においては、新型コロナウイルス感染症の流行を鑑み、集団指導にとられない指導方法を考えていく。					
												H27			H28	H29	H30	R元	
												3,273人			3,268人	3,244人	3,171人	3,219人	
												12歳児のDMF歯数							
												0.84本	0.99本	0.71本	0.89本	0.63本			



所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性													
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																
保健所 健康増 進課	歯周病検診 事業	対象者(満30, 40, 50, 60 歳)に個人通知を行い, 委託医療機関にて歯周 ポケット測定等の歯周疾 患検診を実施する。	柏歯科医師 会	①なし ②なし	30・40歳におけ る喪失歯のない 人の割合増加  30・40歳の進行 した歯肉炎を有 する人の割合減 少							喪失歯のない人の割合(30歳)					受診券に医療機関一覧を掲載し、受 診行動を促すよう環境整備を行った ところ、受診率向上につながった。 今年度はさらなる市民の積極的な受 診行動を期待し、ナッジ理論を活用し た受診券を作成した。例年の受診状 況と比較し、効果検証していく。	あらゆる啓発場面を 活用し、歯や口の健康 づくりに無関心な市民 を対象にすき間ケア 及び定期健診の推進 を図る。									
												H27	H28	H29	H30	R元			84.7%	88.9%	80.3%	95.3%	95.8%				
																			喪失歯のない人の割合(40歳)								
																			72.3%	75.2%	73.2%	91.7%	91.3%				
																			進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人 の割合(30歳)								
																			54.0%	57.3%	52.9%	32.6%	36.4%				
																			進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人 の割合(40歳)								
											60.1%	62.9%	61.3%	38.6%	44.0%												
保健福 祉部 地域医 療推進 課	訪問口腔衛 生指導事業 補助金	・訪問口腔衛生指導の実 施 ・医療機関(病院・歯科医 院等)との連絡調整 ・一般市民への啓発事業 ・地域包括支援セン ター、介護保険事業者等 の従事者説明及び講演 会の実施等への補助事 業	柏歯科医師 会	①なし ②なし	・在宅療養者が 治療及び口腔ケ アを受けること により、口腔機 能を維持し、生 活の質の向上を 図る。  ・市民が、在宅 療養状態になっ ても、安心して 歯科治療を受け ることができる 環境整備。							訪問口腔衛生指導(訪問口腔ケア)を実施し た方の口腔機能向上					訪問調査や口腔ケア、在宅における 緩和ケアの一環としての口腔ケアの 提供により、在宅療養者のQOL向上 に寄与している。また摂食嚥下の指 導により、誤嚥性肺炎の予防につな がっている。令和2年5月現在、新型 コロナウイルスの影響により、衛生士 による訪問調査等を自粛しているた め、患者数の減少が想定される。	引き続き、多職種連 携の中で訪問口腔衛 生指導事業の推進を 図る。									
																H27			H28	H29	H30	R元	80%	80%	75%	80%	90%

(2) 定期的な歯科健康診査の受診勧奨														
⑦ 過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合(成人)の増加														
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
保健福祉部 地域医療推進課	特殊歯科診療事業支援事業	一般的な診療が難しい障害児・者、高齢者等に診療を行う特殊歯科診療所の運営に対し補助金を交付	柏市医療公社 柏歯科医師会	①なし ②なし	一般診療が難しい方本人及び家族の負担軽減。生活の質向上	○	○	○	○	○	○	患者数 H27 H28 H29 H30 R元 3,822人 4,194人 4,049人 4,233人 4,080人	患者数には新型コロナウイルスの影響があると推定されるものの、4千人を超えた。令和2年5月現在、予約による診療を休止し、急患対応のみとしている。	障害者歯科保健・医療の取り組みとして、必要な人が適切な医療が受けられる体制を確保していく。
保健所健康増進課	歯周病検診事業(※)	対象者(満30, 40, 50, 60歳)に個人通知を行い、委託医療機関にて歯周ポケット測定等の歯周疾患検診を実施する。	柏歯科医師会	①なし ②なし	過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合増加		△	△	○	○		過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合(成人) H27 H28 H29 H30 R元 全体 32.1% 33.8% 31.4% 32.9% 34.3% 30歳 32.3% 35.1% 27.8% 30.2% 31.8% 40歳 31.4% 32.7% 31.0% 35.3% 37.7% 50歳 31.0% 31.4% 32.2% 35.6% 32.5% 60歳 34.2% 36.3% 36.0% 28.9% 33.9%	受診券に医療機関一覧を掲載し、受診行動を促すよう環境整備を行ったところ、受診率向上につながった。今年度はさらなる市民の積極的な受診行動を期待し、ナッジ理論を活用した受診券を作成した。例年の受診状況と比較し、効果検証していく。	あらゆる啓発場面を活用し、歯や口の健康づくりに無関心な市民を対象にすき間ケア及び定期健診の推進を図る。

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性					
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 健康増 進課	健康かむか む運動補助 金	柏歯科医師会が主催す る地域歯科保健医療啓 発の一環。 ・各種コンクール実施、 表彰 ・口腔がん検診 ・市民向け口腔啓発企画 等への補助事業	柏歯科医師 会 教育委員会	※健康かむかむ運 動の活動の中で柏 歯科医師会が連携 した団体 日本大学松戸歯学 部 北原学院歯科衛生 専門学校 東葛北部歯科技工 士愛 (株)グラクソ・スミス クリン・コンシュー マー・ヘルスケア ジャパン (株)松風 (株)ビーブランド (株)ケーオーデンタル モラージュ柏 イオンモール柏 こども図書館 あさひ通り商店会 ウラカン百年会	歯や口腔の健 康づくりに関心 を持ち、主体的 に取り組む市民 が増える。	○	○	○	△	△	○	口腔衛生大会参加者数					全てのライフステージを対象に地域 住民を対象とした歯科医師による歯 と口の健康づくりに関する啓発活動 を実施しており、地域に根付いた活 動である。 令和元年度は無関心層への積極的 なアプローチとしてショッピングモー ルを会場に健康かむかむ運動フェス タを開催し、啓発活動を行った。 今年度も継続的に実施していく。	民間企業等と連携 し、効果的な活動を 継続していく	
												H27	H28	H29	H30	R元			1,289人
保健所 健康増 進課	かしわ歯科 相談室	歯・口腔の健康に関して、 歯科医師・歯科衛生士が 個別の相談に応じ、必要 な指導及び助言を行う。	柏歯科医師 会	①なし ②なし	歯・口腔の健康 に関する不安の 軽減	○	○	○	○	○	○	かしわ歯科相談室利用者数					これまで数名の歯科医師の輪番制で 担当していた当事業であるが、令和 元年度より毎月異なる歯科医師が担 当している。それぞれ媒体を駆使し、 市民にわかりやすく説明を行って おり、相談者の不安や疑問は解消され ている。 担当歯科医師間でも情報共有及び 交換が実施されていた。 今年度も昨年度同様、毎月の輪番制 であるため、保健所及び柏歯科医師 会間でも情報共有及び交換を積極的 に実施し、円滑な事業運営に努めた い。	当事業での相談傾向 等を柏歯科医師会と 情報共有し、各歯科 医院でのインフォーム ドコンセントの向上に つなげていきたい。	
																H27			H28

(3) 歯・口腔の健康づくりのための環境整備

⑧ 歯や口の状態に関する満足度(成人)

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性							
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期										
保健所 健康増 進課	歯周病検診 事業 (※)	対象者(満30, 40, 50, 60 歳)に個人通知を行い, 委託医療機関にて歯周 ポケット測定等の歯周疾 患検診を実施する。	柏歯科医師 会	①なし ②なし	歯や口の状態 に満足している 人の割合増加							口腔内の満足度についてほぼ満足している人の割合	受診券に医療機関一覧を掲載し、受 診行動を促すよう環境整備を行った ところ、受診率向上につながった。 今年度はさらなる市民の積極的な受 診行動を期待し、ナッジ理論を活用し た受診券を作成した。例年の受診状 況と比較し、効果検証していく。	あらゆる啓発場面を 活用し、歯や口の健 康づくりに無関心な市 民を対象にすき間ケ ア及び定期健診の推 進を図る。							
												H27			H28	H29	H30	R元			
						全体						32.1%			33.8%	31.4%	32.9%	34.3%			
						30歳						32.3%			35.1%	27.8%	30.2%	31.8%			
						40歳						31.4%			32.7%	31.0%	35.3%	37.7%			
						50歳						31.0%			31.4%	32.2%	35.6%	32.5%			
						60歳						34.2%			36.3%	36.0%	28.9%	33.9%			
						保健所 健康増 進課	かしわ歯科 相談室 (* )	歯・口腔の健康に関して、 歯科医師・歯科衛生士が 個別の相談に応じ、必要 な指導及び助言を行う。	柏歯科医師 会	①なし ②なし	歯・口腔の健康 に関する不安の 軽減									かしわ歯科相談室利用者数	これまで数名の歯科医師の輪番制で 担当していた当事業であるが、令和 元年度より毎月異なる歯科医師が担 当している。それぞれ媒体を駆使し、 市民にわかりやすく説明を行って おり、相談者の不安や疑問は解消され ている。 担当歯科医師間でも情報共有及び 交換が実施されていた。 今年度も昨年度同様、毎月の輪番制 であるため、保健所及び柏歯科医師 会間でも情報共有及び交換を積極的 に実施し、円滑な事業運営に努めた い。
												H27	H28	H29	H30	R元					
												78人	74人	119人	75人	60人					



所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
保健福祉部 福祉政策課	柏フレイル予防プロジェクト2025 (*)	「フレイル(虚弱)」という概念を新たに取り入れ、市民、関係団体、学識経験者、市による「推進委員会」を設置・運営しながら、健康づくり事業の効果的な運動と地域を基盤とした市民主体の活動を推進	医師会、歯科医師会、薬剤師会、東京大学、ふるさと協議会、社会福祉協議会、民生委員児童委員、柏市民健康づくり推進員、スポーツ推進委員、東葛北部栄養士会、リハビリテーション連絡会、地域包括支援センターなど	①第一生命、介護事業者、イオン、JR東日本、日立、フィットネス振興会 ②日立、フィットネス振興会	市民の意識・行動変容(栄養、身体活動、社会参加の促進)							推進委員会実施回数 H27 H28 H29 H30 R元 1回 3回 3回 2回 1回	令和元年度は、市内全域でのフレイルチェックの展開とともに、フレイル予防啓発チラシの小中学校配布、車両貼付マグネットシートを介護事業者車両、ゴミ収集車等に貼付、啓発動画の作成など、新規施策も含めて幅広く普及啓発活動を実施した。今後は、令和2年4月からスタートした柏市フレイル予防ポイント制度について、スポーツジムなど民間事業者を広く巻き込んだ事業拡大や、東大、日立と連携したAIを使ったフレイル予防の可能性検証など、柏フレイル予防プロジェクトのより幅広い展開に取り組む。	フレイル予防の普及・啓発と効果的な促進、地域における市民主体の活動の促進、フレイル予防に係る関係機関の連携・運動を推し進めフレイル予防によるまちづくりの実現を目指していく。
保健福祉部 地域包括支援課	フレイル予防事業 (※)	主に高齢者に対するフレイル(介護予防)事業のうち、口腔機能や嚥下をテーマとしたプログラムについて、歯科医師、歯科衛生士、言語聴覚士等が講座を行う。	柏歯科医師会、柏歯科介護センター、柏市在宅リハビリテーション連絡会、地域包括支援センターなど	①なし ②なし	市民の意識・行動変容(口腔機能の改善)							フレイル予防講座(口腔)の参加者数 H27 H28 H29 H30 R元 — 378人 249人 81人 65人 介護予防センター主催の教室 — 285人 248人 394人 248人 フレイル予防出前講座 — 208人 196人 306人 74人 地域包括支援センター主催の教室	令和元年度は、介護予防センターと地域包括支援センターの共催によるフレイル予防講座を2地域で実施。共催とすることで、フレイルリスクの高い方の参加につながり、より具体的な地域の情報提供なども行うことができた。令和2年度も共催の講座を3地域で実施予定。各地域でフレイルチェックを実施し、フレイル予防講座の受講により、市民がフレイル予防を日常生活の中で具体的に実践できることを目指していく。	フレイルチェックを受けた方がフレイル予防講座につながるような、効果的に運動できる体制整備を図っていく。
市民生活部 保険年金課	保健事業利用助成事業 (お口のクリーニング事業)	18歳以上の柏市国保被保険者と後期高齢者医療保険被保険者に対し、申請に基づき保健事業利用券を年間8枚交付(1枚1,000円相当)。18歳から39歳の健診事業、はり等施術事業、お口のクリーニング事業、運動事業に利用できる。お口のクリーニング事業は、歯磨きでは落とすきれない歯の付着物の除去や歯みがき指導等の健康相談、衛生指導を実施	柏歯科医師会	①なし ②なし	歯・口腔の健康状態の改善、生活習慣病の予防							お口のクリーニング利用者数 H27 H28 H29 H30 R元 1,044人 1,190人 1,287人 1,459人 1,524人	保健事業利用助成事業のメニューの一つとして、生活習慣病の入り口となるむし歯や歯周病の予防を目的として、歯みがきでは落とすきれない茶シブやタバコのヤニ、着色、入れ歯の汚れなどを専用機器を用いて除去したり、歯みがき指導を実施している。保健事業利用助成事業の利用者は年々増加している。	継続実施していく。

## 7. 糖尿病

(1)若い世代からの糖尿病の発症予防と重症化予防																		
①糖尿病の指摘を受けた人の割合の減少																		
②メタボリックシンドローム[内臓脂肪症候群]の該当者及び予備群該当者の割合(40歳以上)の減少																		
③ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値6.5%)以上の人の割合の減少																		
④じん臓機能障害による身体障害者手帳1級所持者数の減少																		
⑤糖尿病医療費(国民健康保険 1月あたりの総点数)の減少																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と考察及 び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
市民生活 部 保険年金 課	柏市国民健 康保険特定 健康診査・特 定保健指導	<p>&lt;特定健康診査&gt; 40歳以上の柏市国保加 入者を対象に、生活習慣 病予防を目的とした健診 を実施。</p> <p>&lt;特定保健指導&gt; 特定健診の結果よりメタ ボリックシンドロームのリス クのある対象者を抽出し、6か月間の生活習慣 改善のための特定保健 指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市医師会</li> <li>・ちば県民保健 予防財団</li> <li>・人間ドック、脳 ドック実施医療 機関</li> <li>・JA(ちば東葛、 東葛ふたば、い ちかわ)</li> <li>・千葉県厚生農 業共同組合連合 会</li> <li>・沼南商工会</li> <li>・柏商工会議所</li> <li>・千葉県国保連 合会</li> </ul>	①なし ②なし	生活習慣病の 発症及び重症 化の予防							特定健康診査受診率(法定報告)	令和元年度新たに特定健診受診率を向 上させるため、「人工知能(AI)を活用した 受診勧奨事業」を実施した。 また、新規に治療中断者に対する受診 勧奨を開始した。 令和2年度は、データヘルス計画、実施計 画の中間評価を実施する。	「柏市国民健康保険 第2期保健事業実施 計画(データヘルス計 画)」、「柏市国民健康 保険第3期特定健診 等実施計画」の計画 期間の中間評価を踏 まえた取組を実施す る。				
												H27			H28	H29	H30	R元
												42.0%			42.3%	42.4%	42.5%	11月1日 以降確定
												特定保健指導実施率(法定報告)						
												20.1%			21.4%	23.0%	29.0%	同上
												メタボリックシンドローム該当者の割合 (法定報告)						
												男性 25.4%			26.1%	27.4%	28.4%	同上
												女性 7.6%			7.8%	8.3%	8.9%	同上
												メタボリックシンドローム予備群の割合 (法定報告)						
												男性 17.3%			17.4%	17.3%	18.0%	同上
						女性 6.0%	6.1%	5.8%	6.1%	同上								
						ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値で 6.5%以上の人の割合(年度報告))												
						7.7%	7.9%	7.9%	8.3%	8.7%								

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と考察及 び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
市民生活 部 保険年金 課	国保 保健 事業利用費 助成事業 (18歳から39 歳の健診)	18歳以上の柏市国保被 保険者に対し、申請に基 づく保健事業利用券を年 間8枚交付(1枚1,000円相 当)。18歳から39歳の健 診事業、はり等施術事 業、お口のクリーニング 事業、運動事業に利用で きる。18歳から39歳の健 診事業は26年度からの 新規事業。受診希望者 に対し受診券を発行し、特 定健診と同様の健診を実 施する。	柏市医師会	①なし ②なし	被保険者の健 康の保持増進 若い世代から の生活習慣病 予防								健診受診の習慣化及び生活習慣病の早 期発見、早期治療による重症化の予防を 目的に「プレ特定健診」として、利用動 向を35歳から39歳までに拡大し、受診動 向を実施した。 令和元年度の受診動向は、1回目は35歳 から39歳まで全員を対象に、2回目は、受 診券を申請した者の中で、受診をしてい ない方を対象に行った。結果、健診受診者 数は増加した。 今年度も引き続き、35歳から39歳まで の国保被保険者に対し、利用動向を実施 する。 また生活習慣の改善を要する方に対し、 保健指導を実施する。	「柏市国民健康保険 第2期保健事業実施 計画(データヘルス計 画)」、「柏市国民健康 保険第3期特定健診 等実施計画」の計画 期間の中間評価を踏 まえた取組を実施す る。
						18歳から39歳の健診実施状況								
						H27	H28	H29	H30	R元				
						受診券発行数								
						83人	237人	218人	479人	469人				
受診者数														
53人	158人	138人	291人	310人										
保健所 健康増進 課	柏市健康診 査 (無保険者)	40歳以上で、無保険の生 活保護受給者を対象に、 特定健診と同内容の健診 を指定医療機関にて実 施。 74歳以下の対象者に個 別通知、75歳以上は申し 込み制。	生活支援課 柏市医師会	①なし ②なし	内臓脂肪症候 群の予防、罹 患している病 状の安定や重 症化予防への 行動が取れる ようにする。							生活支援課と健康管理支援事業担当者 会議を年に3回開催し、当健康診査の実 施方法について等情報交換した。 生活支援課ケースワーカーの個別の受診 動向や受診動向通知発送の効果により受 診者数は増加している。 令和元年度は、健康管理支援の向上と医 療費削減を目的とし受診者数の向上のた め、令和2年度より申込制を一部廃止す ることを決定した。	令和2年度より申込制 を一部廃止し、受診券 発送を74歳以下全員 へ発送しているため、 効果や課題を検証す る。 生活支援課と被保護 者の医療受診状況等 に関する情報交換を 行い、より特定健診と 準じた内容とできるよ う検討していく。	
						受診者数								
						H27	H28	H29	H30	R元				
224人	239人	278人	321人	365人										
保健所 健康増進 課	柏市地域栄 養相談シス テム	生活習慣病等で治療中 の市民が、かかりつけ医 の紹介により、市内の病 院で管理栄養士の栄養 指導が受けられるシス テム。かかりつけ医での治 療及び適切な食事療法を 継続し、生活習慣病の重 症化予防を図る。	柏市医師会 病院栄養士協議 会(柏地区)	①なし ②なし	内臓脂肪症候 群の予防、罹 患している病 状の安定や重 症化予防への 行動が取れる ようにする。							本システムの利用促進を図るため、周知 用リーフレットを改訂し、食事療法の必要 性について医師のコメント、病態に応じた 食事の工夫点を掲載した。年度後半での 改訂であったため、利用者数の増減は見 られていない。食事療法が必要な方が適 切な栄養指導が受けられるよう、引き続 き、依頼元の医療機関や市民への周知を していく。 評価の視点として、栄養指導を実施した 患者の行動変容ステージモデルを取り入 れた。結果、1段階から3段階アップして いる方が多く、終了時点では実行期以上 に変容していた。今後、指導内容を継続 させるための手立てを考える必要がある。 本システムを周知していない産婦人科か らの依頼が増加しているため、他の産婦 人科の意向を確認するためのアンケート を実施予定。	診療報酬が改定さ れ、外来栄養食事指 導料2が新設された。 本システムとの関連 性を考慮し、医療機関 と情報共有を図り、利 用者が活用しやすい 体制を整える。 適切な食事療法を行 えるよう、引き続き、シ ステムの周知や改善 を図る。	
						利用者数(延べ数)								
						H27	H28	H29	H30	R元				
98人	225人	214人	184人	186人										

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と考察及 び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性					
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 健康増進課	健康づくり普及啓発事業 (※)	イベント、健康教育等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	①モラージュ柏 第一生命 ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							啓発実施者数(全数)					令和元年度は各種イベントにて幅広い内容の健康啓発を実施したため、H27年に次いで多くの市民に健康情報を発信することができた。 また、「第一生命」との協定により、第一生命の顧客へ毎月市で作成した「かしわ健康メッセージ」を配付したり、「モラージュ柏」で発行している「モラージュママ」を通じて健康情報を定期的に発信することができた。 令和2年度は、引き続き「第一生命」および「モラージュ柏」と連携し、健康情報を広く周知、啓発していく予定。また、地域職域と連携し、一般企業等への健康に関する啓発物品(脂肪模型等)の貸し出しを開始する。	健康増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を行っている。	
												H27	H28	H29	H30	R元			
												5,235人	4,869人	1,872人	2,657人	4,973人			
												※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む							
												依頼の健康教育参加者数(講師:保健師)							
												-	-	-	95人	38人			
												※H30年度～健康増進課として計上							
保健所 健康増進課	地域・職域連携推進事業	柏地域・職域連携推進協議会 事業所向けの健康情報等のメール配信 啓発リーフレットの配付 事業所向け講習会	柏労働基準監督署 柏労働基準協会 柏商工会議所 柏市沼南商工会 代表企業(2社) 東葛北部地域産業保健センター 全国健康保険協会千葉支部 柏市医師会 柏歯科医師会	①健康づくりに取り組む事業所(3社) ②なし	働く世代の生活習慣病予防とこころの健康づくりの推進  社員の健康づくりに積極的に取り組む事業所の増加							メール配信登録事業所数					元年度は年間11回のメール配信を行う中で、運動や運動関連イベントの情報を配信。健康づくりに取り組む事業所紹介は3社実施。引き続きメール配信の周知を行う。 食生活、運動、こころの健康、禁煙、歯・口腔の健康、健(検)診や各種相談窓口の情報をまとめたリーフレットを作成し、事業所等に配付。保健所だよりも活用した。 年2回の会議の中で、地域と職域の活動について確認・共有を実施した。 柏労働基準監督署と保健所の連名で「健康経営」をテーマにした講習会を実施。 今年度は、健康増進に関するリーフレットを作成し、配布する。	働く世代の健康づくり、職場での健康づくりの推進につながる配信内容、啓発方法の検討を実施	
												H27	H28	H29	H30	R元			
												13社	27社	36社	47社	60社			
												講習会参加事業所数							
												8社	15社	29社	52社	43社			



(2) 定期的な健康診査の受診

⑥ 柏市国民健康保険特定健康診査の受診率(法定報告)の増加

⑦ 柏市国民健康保険特定保健指導の実施率(法定報告)の増加

⑧ 糖尿病の指摘を受けたが、放置している人の割合の減少

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と考察及 び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性					
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
市民生活 部 保険年金 課	柏市国民健康 保険特定 健康診査・特 定保健指導 (* )	<p>&lt; 特定健康診査 &gt; 40歳以上の柏市国保加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健診を実施。</p> <p>&lt; 特定保健指導 &gt; 特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6か月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<p>柏市医師会 ちば県民保健予防財団 人間ドック、脳ドック実施医療機関 JA(ちば東葛, 東葛ふたば, いちかわ) 千葉県厚生農業共同組合連合会 沼南商工会 柏商工会議所 千葉県国保連合会</p>	<p>①なし ②なし</p>	<p>生活習慣病の発症及び重症化の予防</p>							特定健康診査受診率(法定報告)(再掲)	<p>特定健診受診率向上のため、年代・性別等を踏まえた、対象者の特性に応じた受診勧奨を実施した。 また特定保健指導対象者への利用勧奨通知の発送及び電話にて保健師や管理栄養士等が利用勧奨を実施した、また、令和元年度から、「人工知能(AI)を活用した特定健診受診勧奨事業」を新規に導入した。</p> <p>令和2年度も前年度と同様に行う予定ではあるが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に関する国の方針を踏まえつつ感染拡大防止に配慮した特定保健指導を実施する。</p>	<p>「柏市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)」 「柏市国民健康保険第3期特定健診等実施計画」の計画期間の中間評価を踏まえた取組を実施する。</p>					
												H27			H28	H29	H30	R元	
															42.0%	42.3%	42.4%	42.5%	11月1日以降確定
															20.1%	21.4%	23.0%	29.0%	同上
															メタボリックシンドローム該当者の割合 (法定報告)				
															男性 25.4%	26.1%	27.4%	28.4%	同上
															女性 7.6%	7.8%	8.3%	8.9%	同上
															メタボリックシンドローム予備群の割合 (法定報告)				
															男性 17.3%	17.4%	17.3%	18.0%	同上
															女性 6.0%	6.1%	5.8%	6.1%	同上
							ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値で 6.5%以上の人の割合(年度報告))												
							7.7%	7.9%	7.9%	8.1%	8.70%								
市民生活 部 保険年金 課	国保 保健 事業利用費 助成事業 (18歳から39 歳の健診) (* )	<p>18歳以上の柏市国保被保険者に対し、申請に基づき保健事業利用券を年間8枚交付(1枚1,000円相当)。18歳から39歳の健診事業、はり等施術事業、お口のクリーニング事業、運動事業に利用できる。18歳から39歳の健診事業は26年度からの新規事業。受診希望者に対し受診券を発行し、特定健診と同様の健診を実施する。</p>	<p>柏市医師会</p>	<p>①なし ②なし</p>	<p>被保険者の健康の保持増進 若い世代からの生活習慣病 予防</p>							18歳から39歳の健診実施状況	<p>健診受診の習慣化及び生活習慣病の早期発見、早期治療による重症化の予防を目的に「プレ特定健診」として、利用勧奨を35歳から39歳までに拡大し、受診勧奨を実施した。 令和元年度の受診勧奨は、1回目は35歳から39歳まで全員を対象に、2回目は、受診券を申請した者の中で、受診をしていない方を対象に行った。結果、健診受診者数は増加した。 今年度も引き続き、35歳から39歳までの国保被保険者に対し、利用勧奨を実施する。 また生活習慣の改善を要する方に対し、保健指導を実施する。</p>	<p>「柏市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)」 「柏市国民健康保険第3期特定健診等実施計画」の計画期間の中間評価を踏まえた取組を実施する。</p>					
												H27			H28	H29	H30	R元	
															受診券発行数				
															83人	237人	218人	479人	469人
															受診者数				
															53人	158人	138人	291人	310人

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果, 今後の課題と考察及 び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性			
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期						
保健所 健康増進 課	柏市健康診 査 (無保険者) (*)	40歳以上で, 無保険の生 活保護受給者を対象に, 特定健診と同内容の健診 を指定医療機関にて実 施。 対象者に個別通知, 希望 者は申し込み。	生活支援課 柏市医師会	①なし ②なし	内臓脂肪症候 群の予防, 罹 患している病 状の安定や重 症化予防への 行動が取れる ようにする。								生活支援課と健康管理支援事業担当者 会議を年に3回開催し, 当健康診査の実 施方法について等情報交換した。 生活支援課ケースワーカーの個別の受診 勧奨や受診勧奨通知発送の効果により受 診者数は増加している。 令和元年度は, 健康管理支援の向上と医 療費削減を目的とし受診者数の向上のた め, 令和2年度より申込制を一部廃止す ることを決定した。	令和2年度より申込 制を一部廃止し, 受診 券発送を74歳以下全 員へ発送しているた め, 効果や課題を検 証する。 生活支援課と被保 護者の医療受診状況 等に関する情報交換 を行い, より特定健診 と準じた内容とでき るよう検討していく。			
						受診者数					H27	H28			H29	H30	R元
						224人	239人	278人	321人	365人							

## 8. 循環器疾患

(1)若い世代からの循環器疾患の発症予防と重症化予防
①循環器疾患の指摘を受けた人の割合の減少
②循環器疾患による死亡者数の減少
③循環器疾患医療費(国民健康保険 1月あたりの総点数)の減少
④LDLコレステロールが140mg/dl以上の人の割合(40歳以上)の減少
⑤収縮期血圧が140mmHg以上の人の割合(40歳以上)の減少
⑥拡張期血圧が90mmHg以上の人の割合(40歳以上)の減少
⑦【再掲】メタボリックシンドローム[内臓脂肪症候群]の該当者及び予備群該当者の割合(40歳以上)の減少

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性										
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期													
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導(※)	<p>&lt;特定健康診査&gt; 40歳以上の柏市国保加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健診を実施。</p> <p>&lt;特定保健指導&gt; 特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6か月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<p>柏市医師会 ちば県民保健 予防財団 人間ドック、脳 ドック実施医 療機関 JA(ちば東 葛, 東葛ふた ば, いちか わ) 千葉県厚生 農業共同組 合連合会 沼南商工会 柏商工会議 所 千葉県国保 連合会</p>	<p>①なし ②なし</p>	<p>生活習慣病の 発症及び重症 化の予防</p>							特定健康診査受診率(法定報告)(再掲)	<p>令和元年度は、「千葉県平均よりも高血圧症の該当率が男女とも高い」及び、「糖代謝異常、高血圧症、腎機能低下で医療機関受診が必要な人の約4割が医療機関を未受診又は受診の確認ができない」という健康課題を踏まえ、「血中脂質」や「高血圧症」が保健指導値以上の方を対象に、循環器専門医による健康講座を実施した。 令和2年度も新型コロナウイルス感染症による影響を考慮しながら、可能な範囲の保健指導を展開していく。</p>	<p>「柏市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)」,「柏市国民健康保険第3期特定健診等実施計画」の計画期間の中間評価を踏まえた取組を実施する。</p>										
												H27			H28	H29	H30	R元						
												42.0%			42.3%	42.4%	42.5%	11月1日以降確定						
																			特定保健指導実施率(法定報告)(再掲)					
																			20.1%	21.4%	23.0%	29.0%	同上	
																							LDLコレステロールが140mg/dl以上の人の割合(40歳以上)(年度報告)	
																							全体 33.6%	
																							男性 28.3%	
																							女性 37.2%	
																								収縮期血圧が140mmHg以上の人の割合(40歳以上)(年度報告)
																								全体 24.6%
																								男性 27.0%
																								女性 22.57%
																拡張期血圧が90mmHg以上の人の割合(40歳以上)(年度報告)								
																全体 11.9%								
																男性 15.6%								
																女性 9.4%								

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
市民生活部 保険年金課	国保 保健事業利用費 助成事業 (18歳から39歳の健診) (* )	18歳以上の柏市国保被 保険者に対し、申請に基 づき保健事業利用券を 年間8枚交付(1枚1,000 円相当)。18歳から39歳 の健診事業、はり等施術 事業、お口のクリーニン グ事業、運動事業に利用 できる。18歳から39歳の 健診事業は26年度から の新規事業。受診希望 者に対し受診券を発行し、 特定健診と同様の健診 を実施する。	柏市医師会	①なし ②なし	被保険者の健康の保持増進 若い世代からの 生活習慣病予防							18歳から39歳の健診実施状況	健診受診の習慣化及び生活習慣病 の早期発見、早期治療による重症化 の予防を目的に「プレ特定健診」とし て、利用勧奨を35歳から39歳までに 拡大し、受診勧奨を実施した。 令和元年度の受診勧奨は、1回目は 35歳から39歳まで全員を対象に、2 回目は、受診券を申請した者の中 で、受診をしていない方を対象に 行った。結果、健診受診者数は増加 した。 今年度も引き続き、35歳から39歳ま での国保被保険者に対し、利用勧奨 を実施する。 また生活習慣の改善を要する方に対 し、保健指導を実施する。	「柏市国民健康保険第 2期保健事業実施計画 (データヘルス計画)」 、「柏市国民健康保険第 3期特定健診等実施計 画」の計画期間の中間 評価を踏まえた取組を 実施する。				
												H27			H28	H29	H30	R元
												受診券発行数						
												83人			237人	218人	479人	469人
						受診者数												
												53人	158人	138人	291人	310人		
保健所 健康増進課	柏市健康診 査 (無保険者) (* )	40歳以上で、無保険の 生活保護受給者を対象 に、特定健診と同内容の 健診を指定医療機関に て実施。 対象者に個別通知、希 望者は申し込み。	生活支援課 柏市医師会	①なし ②なし	内臓脂肪症候 群の予防、罹患 している病状の 安定や重症化 予防への行動 が取れるように する。							受診者数	生活支援課と健康管理支援事業担 当者会議を年に3回開催し、当健康 診査の実施方法について等情報交 換した。 生活支援課ケースワーカーの個別の 受診勧奨や受診勧奨通知発送の効 果により受診者数は増加している。 令和元年度は、健康管理支援の向 上と医療費削減を目的とし受診者数 の向上のため、令和2年度より申込 制を一部廃止することを決定した。	令和2年度より申込制 を一部廃止し、受診券 発送を74歳以下全員へ 発送しているため、効 果や課題を検証する。 生活支援課と被保護 者の医療受診状況等に 関する情報交換を行 い、より特定健診と準 じた内容とできるよう検討 していく。				
												H27			H28	H29	H30	R元
												受診者数						
												224人			239人	278人	321人	365人
保健所 健康増進課	柏市地域栄 養相談シ ステム (* )	生活習慣病等で治療中 の市民が、かかりつけ医 の紹介により、市内の病 院で管理栄養士の栄養 指導が受けられるシス テム。かかりつけ医での 治療及び適切な食事療法 を継続し、生活習慣病の 重症化予防を図る。	柏市医師会 病院栄養士 協議会(柏地 区)	①なし ②なし	内臓脂肪症候 群の予防、罹患 している病状の 安定や重症化 予防への行動 が取れるように する。							利用者数(延べ数)	本システムの利用促進を図るため、 周知用リーフレットを改訂し、食事療 法の必要性について医師のコメント、 病態に応じた食事の工夫点を掲載し た。年度後半での改訂であったた め、利用者数の増減は見られていな い。食事療法が必要な方が適切な栄 養指導が受けられるよう、引き続き、 依頼元の医療機関や市民への周知 をしていく。 評価の視点として、栄養指導を実施 した患者の行動変容ステージモデル を取り入れた。結果、1段階から3段 階アップしている方が多く、終了時点 では実行期以上に変容していた。今 後、指導内容を継続させるための手 立てを考える必要がある。 本システムを周知していない産婦人 科からの依頼が増加しているため、 他の産婦人科の意向を確認するた めのアンケートを実施予定。	診療報酬が改定され、 外来栄養食事指導料2 が新設された。本シス テムとの関連性を考慮 し、医療機関と情報共 有を図り、利用者が活 用しやすい体制を整え る。 適切な食事療法を行え るよう、引き続き、シス テムの周知や改善を図 る。				
												H27			H28	H29	H30	R元
												利用者数(延べ数)						
												98人			225人	214人	184人	186人





(2) 定期的な健康診査の受診

⑧【再掲】柏市国民健康保険特定健康診査の受診率(法定報告)の増加

⑨【再掲】柏市国民健康保険特定保健指導の実施率(法定報告)の増加

⑩循環器疾患の指摘を受けたが、放置している人の割合の減少

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性										
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期													
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導 (* )	<p>&lt;特定健康診査&gt; 40歳以上の柏市国保加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健診を実施。</p> <p>&lt;特定保健指導&gt; 特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6か月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市医師会</li> <li>・ちば県民保健予防財団</li> <li>・人間ドック、脳ドック実施医療機関</li> <li>・JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ)</li> <li>・千葉県厚生農業共同組合連合会</li> <li>・沼南商工会</li> <li>・柏商工会議所</li> <li>・千葉県国保連合会</li> </ul>	①なし ②なし	生活習慣病の発症及び重症化の予防							特定健康診査受診率(法定報告)(再掲)	<p>特定健診受診率向上のため、年代・性別等を踏まえた、対象者の特性に応じた受診勧奨を実施した。また特定保健指導対象者への利用勧奨通知の発送及び電話にて保健師や管理栄養士等が利用勧奨を実施した、また、令和元年度から、「人工知能(AI)を活用した特定健診受診勧奨事業」を新規に導入した。</p> <p>令和2年度も前年度と同様に行う予定ではあるが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に関する国の方針を踏まえつつ感染拡大防止に配慮した特定保健指導を実施する。</p>	「柏市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)」, 「柏市国民健康保険第3期特定健診等実施計画」の計画期間の中間評価を踏まえた取組を実施する。										
												H27			H28	H29	H30	R元						
																			42.0%	42.3%	42.4%	42.5%	11月1日以降確定	
																			特定保健指導実施率(法定報告)(再掲)					
																			20.1%	21.4%	23.0%	29.0%	同上	
																			LDLコレステロールが <sup>†</sup> 140mg/dl以上の人の割合(40歳以上)(年度報告)					
																			全体	33.6%	31.8%	31.0%	30.6%	31.7%
																			男性	28.3%	26.7%	26.2%	25.7%	26.8%
																			女性	37.2%	35.3%	34.2%	33.9%	34.9%
																			収縮期血圧が <sup>†</sup> 140mmHg以上の人の割合(40歳以上)(年度報告)					
																			全体	24.6%	24.7%	23.5%	22.8%	23.1%
																			男性	27.0%	27.7%	26.6%	25.5%	25.3%
																			女性	22.57%	22.8%	21.4%	21.1%	21.6%
											拡張期血圧が <sup>†</sup> 90mmHg以上の人の割合(40歳以上)(年度報告)													
											全体	11.9%	11.8%	12.0%	10.8%	11.3%								
											男性	15.6%	15.8%	16.1%	14.3%	14.6%								
											女性	9.4%	9.2%	9.2%	8.4%	9.1%								



9. がん

(1)がんの発症を防ぐための生活習慣等に関する知識の普及																		
①がんによる死亡者数の減少																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
保健所 総務企画課	がん対策	877	庁内関係部 局 がん診療連携 拠点病院 医師会など	①なし ②なし	「柏市がん対策 基本条例」に基 づき関係機関と の連携のもと、 がん対策を効果 的かつ効率的 に推進	○	○	○	○	○	○	がん対策検討会議実施状況					がんに対する健康課題についての直接的な取り組みではないが、がん対策検討会議は、全体会のみ2回を実施。がんサポートハンドブックの内容について、関係機関と意見交換を行った。また、予防啓発に関しても、学校でのがん教育や関係機関における取り組みについて共有した。	第3期がん対策推進基本計画および現状を踏まえ、また、国の「がんとの共生」に関する検討会、計画の中間評価の動向等を見つ、柏市全体としての取り組みを関係機関で共有・検討しながら推進していく。
												H27	H28	H29	H30	R元		
												3回	4回	4回	2回	2回		
保健所 保健予防課 保健所 健康増進課	肝炎ウイルス検査	柏市民で、これまで肝炎ウイルス検査を受けたことがなく、他で検査を受ける機会のないかた、感染を心配するリスク行為があったかたを対象に検査を実施。	柏市医師会	①なし ②なし	肝炎ウイルス感染を早期に発見し、適切な検査・治療へつなぐことで、肝硬変や肝がんへの進行による重症化を防ぐ							肝炎ウイルス検査実施数					平成28年度より、検査結果陽性者に対してフォローアップ事業を開始し、精密検査や治療へ結びついているかどうかを確認している。昨年の陽性者はB型が9名、C型が2名となっている。同意取得率は6割程度である。陽性者フォローアップ事業参加に同意した方への受診勧奨や受診確認方法をマニュアル化し、整備する。当事業は、平成26年度より健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査として開始され、平成30年度で、平成26年度からの5歳刻みへの通知が一巡した。一巡目で未受診だった方への個別勧奨を令和元年度より実施し、未受診者の減少を図る。	継続して対象者への個別勧奨及び陽性者フォローアップ事業を継続していく。
												H27	H28	H29	H30	R元		
												7,333人	6,725人	7,185人	8,194人	4,535人		





- (2)がん検診の受診
- ②胃がん検診受診率の増加
- ③大腸がん検診受診率の増加
- ④子宮がん検診受診率の増加
- ⑤乳がん検診受診率の増加
- ⑥結核・肺がん検診受診率の増加

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性						
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期									
保健所 健康増進課	がん検診	「がん検診重点健康教育及びがん検診の実施のための指針」(厚生労働省)に基づき、胃、大腸、結核・肺、乳、子宮の各がん検診の実施。	柏市医師会 ちば県民保健 予防財団 医療センター	①なし ②なし	各がんの早期発見、早期治療に結びつける。							がん検診受診率	平成30年度より開始した胃内視鏡検査の受診者比率を増加させるため、内視鏡検査実施医療機関に内視鏡検査を勧奨するポスターを掲示したところ、従来から実施している胃エックス検査より胃内視鏡検査の方が上回っている。 乳がん検診は平成30年度より受診頻度を隔年とし、令和元年度より乳がんあいだの年検診を開始したが、滞りなく実施した。検診結果を評価し、今後の動向を検討していく。 令和2年度は、全てのがん検診において新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じた検診とする必要がある。	新型コロナウイルス対策を講じた検診体制を継続する。 受診率向上となる検診を目指す。						
												H27			H28	H29	H30	R元		
						胃がん検診						9.8%			9.3%	8.2%	8.0%	10.7%		
						大腸がん検診						19.9%			18.1%	16.5%	15.3%	14.7%		
						子宮頸がん検診						26.3%			28.4%	26.6%	26.1%	24.9%		
						乳がん検診						29.4%			30.7%	30.0%	27.8%	35.2%		
						結核・肺がん検診						15.8%			16.0%	14.7%	14.2%	13.7%		
保健所 健康増進課	新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業	特定の年齢のかたに無料クーポン、検診手帳(啓発用)を送付し、該当するがん検診について、無料で受診することができる。対象となるがん検診は、乳、子宮頸がん検診(大腸はH27年度まで実施)。 個別の受診勧奨(新規登録)・再勧奨(がん検診登録者の一部)を実施。  精密検査未受診者に対する受診勧奨通知及び特定の年齢に達する対象者への受診勧奨を行う。	柏市医師会 ちば県民保健 予防財団 医療センター	①なし ②なし	がん検診を受けるきっかけとして、今まで受診したことがない人が受診することで、受診率向上に寄与する。							クーポン利用率	数年来、子宮頸がんの無料クーポンの利用率が低く課題である。個別の受診勧奨は、新規転入者と20・30歳女性、40歳男女へ登録勧奨を実施し、12.6%の登録率である。今後登録者数増加に向けて検討する。個別の受診再勧奨は、令和元年度から全がん検診の一部対象で実施し再勧奨対象者のうち約70%が受診した。ナッジ理論を導入した文面を試行的に実施したところ、損失回避文面での文面がより受診効果が高かった。受診効果が高いため、今後も継続して実施していく。 精密検査未受診者受診状況把握に関し、再勧奨通知を継続する。令和2年度より本人からの連絡だけでなく、返信ハガキを用いての受診結果確認を実施する。	個別の受診勧奨(登録勧奨)、受診再勧奨について、受診率向上の効果が高いため、事業をより拡大していく予定。  精密検査の受診率向上を目指し、精密検査の受診勧奨を継続する。						
												H27			H28	H29	H30	R元		
						大腸がん						7.6%			廃止	-	-	-		
						乳がん						16.0%			12.0%	24.5%	22.8%	23.3%		
						子宮頸がん						11.3%			4.6%	2.9%	4.2%	4.0%		

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和2年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和元年度取り組みの成果, 今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和3年度の方向性		
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期					
保健所 地域保健課	啓発事業 (※)	イベント等の中で運動, 食, タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし, 幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	①なし ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで, 健康に関する気づきの場を作る。							啓発実施者数(全数)	・ホームページやチラシ等を用いて周知し, 地域サロンを中心とした依頼の健康教育を実施した。 ・啓発ワーキングと連携し, 健康に関する内容を付加し実施していく。	引き続き, 啓発ワーキングと連携した健康教育を実施し, 地域活動を行っていく。		
						○	○	○	○	○	○	H27			H28	H29
保健所 健康増進課	健康づくり普及啓発事業 (*)	イベント, 健康教育等の中で運動, 食, タバコ, がん検診登録勧奨, がん予防等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし, 幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係 ふるさと協議会 柏市医師会	①なし ②なし	・幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで, 健康に関する気づきの場を作る。 ・がん検診新規登録者数の増加							啓発実施者数(全数)	各種イベントにて幅広い内容の健康啓発を実施したため, H27年に次いで多くの市民に健康情報を発信することができた。 また, 令和元年度は「第一生命」との協定により, 第一生命の顧客へ毎月市で作成した「かしわ健康メッセージ」を配付したり, 「モラージュ柏」で発行している「モラージュママ」を通じて健康情報を定期的に発信することができた。 令和2年度は, 引き続き「第一生命」および「モラージュ柏」と連携し, 健康情報を広く周知, 啓発していく予定。また, 地域毎の受診率等に合わせた啓発活動を実施していく。	健康増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を行っていく。 がん検診受診率向上に向け, 対象者へアプローチしていく。		
						○	○	○	○	○	○	H27			H28	H29
保健所 健康増進課	地域・職域連携推進事業	柏地域・職域連携推進協議会 事業所向けの健康情報等のメール配信 啓発リーフレットの配付 事業所向け講習会	柏労働基準監督署 柏労働基準協会 柏商工会議所 柏市沼南商工会 代表企業(2社) 東葛北部地域産業保健センター 全国健康保険協会千葉支部 柏市医師会 柏歯科医師会	①健康づくりに取り組む事業所(3社) ②なし	働く世代の生活習慣病予防とこころの健康づくりの推進 社員の健康づくりに積極的に取り組む事業所の増加							メール配信登録事業所数	元年度は年間11回のメール配信を行う中で, 運動や運動関連イベントの情報を配信。健康づくりに取り組む事業所紹介は3社実施。引き続きメール配信の周知を行う。 食生活, 運動, こころの健康, 禁煙, 歯・口腔の健康, 健(検)診や各種相談窓口の情報をまとめたリーフレットを作成し, 事業所等に配付。保健所だよりも活用した。 年2回の会議の中で, 地域と職域の活動について確認・共有を実施した。柏労働基準監督署と保健所の連名で「健康経営」をテーマにした講習会を実施。 今年度は, 健康増進に関するリーフレットを作成し, 配布する。	働く世代の健康づくり, 職場での健康づくりの推進につながる配信内容, 啓発方法の検討を実施		
						○	○	△	H27	H28	H29	H30			R元	
												講習会参加事業所数				
												H27	H28	H29	H30	R元
												13社	27社	36社	47社	60社
												8社	15社	29社	52社	43社